明治三十九年九月一日第三種郵便物認可　大正八年八月二十三日　THE KEIJO NIPPO　（土曜日）　第四千二百二十七號

京城日報

（年中無休刊）
定價 一部金參錢 一箇月金七十五錢
發行所 京城大平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之

八月二十二日夕刊（朝刊併せて八頁）

英波協約と聯國
ウ氏同協約を承認するや否や

英國波斯間の協約成立は巴里に於ける聯合國外交團を驚かし國際聯盟主張者間に甚だしく失望を感じ居る者あり外交團の多數は波斯は名義のみ獨立國なるも他の總ての點に於て英國の保護國なるがウイルソン氏が果して同協約を承認するや否やを疑ひつゝあり（巴里電報）

在墨米人虐殺說
兩軍交戰狀態にあり

紐育にては在墨米人の大虐殺行はれつゝありとの風說傳へられつゝあり尙ほ米國の侵入軍は國境を越え兩軍既に交戰狀態に在りと（桑港廿日東京電報）

勞働會議準備決定

我政府は國際勞働會議に對し過般來の協議會にて人選及び其他の事項大體決定せるが如し（東京特電）

倫敦財界近狀

ルーター倫敦十五日發＝政府の大口資金引上のためコールは初め引締まりしが後銀行筋に對する需要減少により引緩めり勞働者の鐵道國有主張勞働不安轉向前期のため株は亂調なりしも間もなく投機賣合行はれ其の都度引戻せり株の內最も強腰なるは石油にて鐵道、貨、鋼鐵モートルは少からず氣配鈍れり鋼鐵は現物市場好況なるに拘らず稍もすれば崩しの的となれり（東京電報）

輸出貿易金融
紐育銀行家の計畫

在紐育財務官發電＝ゾオーレン、クレヂット、コーポレーション紐育州法の下に資本金五百萬弗積立金百萬弗を以て紐育並に地方の銀行により組織せられ輸出貿易金融を目的とし主として內外人に對する手形の引受業務を行ふ紐育保證信託社副頭取ジー、エム、ピー、マーフヰー氏頭取に就任せり（東京電報）

大詔煥發に依りて統治面目一新せん
地方の開發と民力の涵養
古賀拓殖局長官談

大詔新に煥發して內外の刺戟に對し朝鮮の統治は面目を一新せんとして動揺せざる國民を作るには敢す大詔に宣はせ給へる　聖慮は首に依り精神的に健全なる人格を陶冶する外他に途無し鮮民の新官制に磅礴し其の實際の運用の執行に就ては總督總監以下各庁智識資力向上せる曉是に地方人格なるを以て國民は其の自治制を布く又何の難きとか人格手腕に信賴しん國力の充實は實に地方の堅實て可なるべし要するに此なる經營に資ふと大なり徒らに朝鮮統治の一大方針は內鮮の差中央都市の整備を急ぐよりも地方の別を撤廢なり今日俄に一切平等に開發民力の涵養をなす譯には行かざるべきも一切念とする亦最も喫緊事に屬す差別を撤廢する時節の一日も早く更に言論の自由の如きは最も重到來せんことを目的として諸般んずべし言論機關が民衆教化の施設を進めんこと肝要なり殊上に偉大なる力あるは今更贅言に教育の如き全力を擧けて其の限に非ず從來の論議等未だ非の普及發達を計らざるべからずを顧問し以て文化の進歩に貢獻すべき者なり天下を治めんとすす是れ言論の任務に非ずや要するに朝鮮の政治。

は朝鮮に於ける我國氏（敢て朝鮮人と云はず內地人と云はず）の幸福の增進を目的とする外他に何物もなし而して其の執行に方り何等の隱秘因襲の私曲あるべき筈なし（東京特電）

西園寺侯
廿三日東京著

西園寺侯一行は二十三日午前十時神戸著直ちに上陸同七時四十分神戸發午後八時二十五分東京驛着歸京すべし（東京特電）

牧野男歸朝期

牧野伸顯男木村參事官立博士一行の搭乘せる郵船鹿島丸は去七日蘇士通過二十一日コロンボに到着せるが神戸入港は既報の如く九月十一日頃なるべし（東京電報）

總督總監發期

齋藤朝鮮總督水野政務總監は各夫人同伴守屋、伊藤秘書官を隨へ來る廿八日午前八時半東京驛發列車にて赴任の途に就くべく途中伊勢大廟、伏見、桃山御陵を參拜すべしと（東京特電）

ヘツケル教授

某所發電＝自然科學者にして又哲學者として有名なるヘツケル教授は逝去せり（東京特電）

木村利右衛門氏

横濱の富豪從五位木村利右衛門氏は廿日逝去せり（東京特電）

辭令
廿一日左の如く發令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府附武官　海軍大佐　東條明次
佐世保鎭守府附被仰付
朝鮮總督府事務官　遠藤柳作
任東京府事務官

小野塚博士渡歐

萬國聯合學士院會に出席す可き小野塚法學博士は夫人同伴高橋博士と共に廿日横濱解纜の須磨丸にて渡歐の途に就く（東京特電）

日本銀行帳尻

八月廿日の日本銀行帳尻左の如し（東京電報）

發行高	九六六、八
正貨準備	七五一、〇
限外發行	八五八
貸出高	四〇一、七

警察官講習所官制

今回勅令を以て朝鮮總督府警察官講習所官制公布され同時に施行の事となれるが其全文如左

朝鮮總督府警察官講習所官制

第一條　朝鮮總督府警察官講習所は朝鮮總督の管理に屬し警察官吏又は警察官吏たるべき者に警察に關する學術及其運用並實務を教授する所とす

第二條　警察官講習所に左の職員を置く
所長　專任　一人
教授　專任　四人　奏任
助教授　專任　五人　判任
書記　專任　二人　判任

第三條　所長は朝鮮總督の指揮監督を承け所務を掌理す

第四條　教授及助教授は上官の指揮を承け教授を掌る

第五條　書記は上官の指揮を承け庶務に從事す

醫院事務移管

朝鮮總督府醫院並に道慈惠醫院の事務は從來總督府內務部第二課に於て取扱ひ來りしが官制改正に依り警務局衛生課に於て取扱ふ事となれり

鮮人企業傾向
組織合同多し

近年財界の膨脹發展と物價の昂騰とは鮮人の經濟思想を變化せしめし示識に顯著なるものあり即ち一般朝鮮人の財的實力の增大せる結果鮮人のみにて組織せる大會社の計畫漸く盛んならんとせり資本金二百萬圓の東洋物產株式會社の如き又は目下許可申請中なる資本金百萬圓のソウル株式會社の如き何れも其有力なる適例なり而して物價昂騰の結果は比較的小資本を以てせる鮮人競爭の弊を認め資本金の合同する傾向あり例せば三和商會及び三金商會の合同して株式會社東益商會を創設せるが如き之なり當局目下當局の手許に合同を出願するもの續々たる狀況にて今後財界の趨向にして變調なき限り此種の出願は漸次其の數を增加すべし更に此種新事業及び資本金合同の事業は殆んど物品賣買委託品販賣若くは貸金業にして其

製造工業

に屬するものは之を認むるを得ず之れ未だ朝鮮人の資本の製造工業方面には朝鮮人の資本の合同を策すべく其必要を感じ居らず能力も全く事業に於て工業界には商業界程に有力者も少く未だ工業會社の新事業又は合同を爲す機運に向ひ居らず又朝鮮人として經營し商業方面の業務は手に容易にして事業性質上有利なるものあるに因らんと云ふ

滿洲粟運賃低減

八月十六日より同三十一日迄に於ける滿洲朝鮮線各驛相互間輸送に係る滿洲粟は運賃五割を低減する事となれり

鮮銀總裁演說（二）
株主總會にて

棉花の栽培は從來政府の最も獎勵に努め來りし所にして其產額大正二年參千五百萬斤に過ぎざりしも昨年に至り天候不良の爲め豫期の收穫を舉け得ざりしに拘らず尙七千貳百萬斤の產出を示すに至りたり本品在來種の栽培は鮮內各地に行はるゝも陸地棉に至りては其栽培の適地は主として南鮮一部に限定せらるゝに過ぎず然れ共政府既定の獎勵計畫にして其進捗を見んか近き將來之を貳億五千萬斤に達せしむる事不可能にあらずと云へり而して棉作の發達は鮮產棉花を原料とする紡績事業の計畫を促がし昨年既に一會社の成立を見今や其計畫漸次緒に就くと共に棉花の栽培及紡績事業の將來は頗る多望なることを信ぜしむるに至れり朝鮮に於ける鑛業の有望なるは茲に喋說の要なき所なるが戰亂の發生以來鑛產の種類に依り多少の打擊を蒙りたるものなきにあらずと雖も概して相當の發達を爲したるを認むへし殊に近時最も長足の進歩を示したるは製鐵事業なりとす卽ち兼二浦に於ける三菱製鐵所は昨年を以て第一期計畫を完了し其製品を內地に移出するに至り貿易表上前年下半期に於て壹千五百四拾萬圓、當期に於て四百貳拾萬圓の銑及び軟鋼の移出を見るに至りたるは朝鮮鑛業史上特記すべき現象なりとす但し戰亂の終結は一般斯業に對し多大の影響を及ぼし內地製鐵業者にして其事業を休止するの止むなきに至りたるものある聞くも同製鐵所の如き事業計畫の周密にして組織の完備せる基礎の鞏固なる今後益健全なる發達を遂ぐべきを疑はざると共に其國家的事業たる關係上特に其前途を祝福するものなり右の外森林、製紙、セメント、電力又は鐵道其他各種の企業は漸々實現せられ現に當期間に於ける新設會社の總數五拾七社、資本の拂込金額九百參萬貳千圓に上りたるが如き今や朝鮮產業界近時の發展を示すに足るものあり

以上述へたる如く朝鮮に於ける產業界は近時頗る盛況を呈し殊に米其他の農產品は孰れも市價の暴騰して輸移出額の激增を告げたる結果として農民及一般人民の資力概して充實せられ漸次鮮人の生活を向上せしめつゝあるは疑なき所にして購買力の增進、生活程度の向上は延て物資の需要輸入市場の活況を促がし相俟ちて朝鮮貿易は未曾有の活勢を呈するに至れり即ち當期間に於ける貨物及地金銀を合せたる輸移入額壹億八拾參萬圓、同輸移出額壹億四拾參萬圓、同合計貳億貳千六百貳拾六萬圓に上り前年同期に對する增加の割合は輸移出に於て六割五分、輸移入に於て八割四分、合計に於て七割五分にして更に之を大正六年に於ける全年の輸移出入總額壹億九千八百八拾七萬圓を超過せること貳千百參拾九萬圓の多きに及へるのみならず是の如き金額の增加は各種商品價格の昂騰に因るものありと雖も尙其數量も亦因より少からず增加を來したるものなり而して輸移出の增加は主として米、大豆其他の豆類、魚類、生絲、鐵類、煙草等の增加に基因し輸移入の增加は主として綿布、滿洲粟、麥粉、諸器械、石炭等の增加に歸すべし前年同期に於ける輸移入超過額は貳千百八拾七萬圓に對し當期間に於ては貳千四百六十萬圓に上り稍其差額を增せりと雖も是れ地方經濟狀態の向上に伴ふ必然の結果にして資本の流入は資產の增加と共に必ずしも悲觀すべき現象にあらざるなり朝鮮經濟界の敍述を終るに當り茲に最も遺憾と爲す所は三月以來數日に亘り端なく鮮內各地に騷擾の起り一時人心をして不安に導きたることにして是れ共穩當官憲の努力と鮮人の覺醒とに依り漸次鎭靜に歸したりと雖も其勃發の當初に於て各地鮮商の同盟閉店が金融の圓滑を阻礙し延て商取引の不振を來したる傾向なきにあらずと雖も幸にして影響する所大ならざりしは朝鮮開發上大に慶賀せざるべからず

二、滿洲　滿洲は宏大なる富源を包藏しその開發は現在に於て將來に於ても我邦に對し食糧、肥料、各種工業の原料品並に石炭其他の鑛產物の供給地として重要なるのみならず亦我工產品の需要地として一日も忽にすべからざる無限の富源を包藏するものなり其開發は金融機關の活動を俟つべきもの多し前者に付ては今日邦人の經營に係る金融機關の總數本支店出張所及派出所十八店（此內當行支店出張所を合して七十二）其貸出金額は前年に比すれば如何に金融取引普及の迅速なりしやを知るに足るべし邦人經濟的勢力の發展を語る金融機關の活動之に伴ひ而して財界の發展に伴ひ大連奉天の二地に於ける手形交換高の如きも內地交換所中東京、大阪、神戸、横濱及名古屋の外に比肩すべき程度に達したり滿洲に於ける當行の施設に就ては更に內地の大銀行が進んで其支店を滿洲に設置し益滿洲の開發に努めらるゝに至らんことを希望して已まざるものなり

朝鮮耕地面積
畓田計四百三十四萬二千餘町
昨年に比し畓田共著しく增加

最近總督府の調査に係る朝鮮の耕地面積を見るに畓（水田）百五十四萬四千四百三十町四反、田（畑）二百七十九萬七千六百六十一町六反計四百三十四萬二千九十一町にして內自作による畓五十四萬六千百四十町七反、同田百六十一萬千三百六十三町八反、小作に依る畓九十九萬八千二百八十九町七反、同田百十九萬二千二百九十六町八反、火田（燒畑）面積二十五萬三千九百五十二町一反なり而して之を前年に比較するときは畓に於て十九萬九千三百卅六町七反、田に於て三十五萬七千六百七十三町五反計四十六萬七千十町二反の增加を示せるが斯く面積の激增せるは畢竟土地調査事業の完成により地籍の明瞭となりたる結果とす今各道別耕地面積を表示すれば左の如し

道別	畓（町）	田（町）
京畿	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]
平北	[illegible]	[illegible]
江原	[illegible]	[illegible]
咸南	四〇、八七四 △四八三	三六一、九八三 △一五、九九九
咸北	七、二七六 △三九五	二〇七、四三三 △四、九二四
總計	一、五四四、四三〇 △六、二九六	四、三四二、〇九一 △八〇、七三四

備考　△印を付せるは休閑又は水害其の他の理由に依り本年耕作なさゞりしものゝ內皆なり

又近年の穀價並に副業生產物の騰貴は下級農民を利

する所尠からず小作農多き朝鮮人に自作の有利なるを悟り收入の增加に伴れ土地を購ひ自作農に轉ずる者尠からず中農階級を增加せる傾向なり今各道別自作小作の耕地面積を表示すれば左の如し

道名	自作畓（町）	自作田（町）	小作畓（町）	小作田（町）
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

仁川期米崩る
降雨賣旺盛

連日の旱天を材料に著しく買上げられし仁川期米は先物四十四圓七十五錢を高値とし四十四圓台は流石に伸び悩みの傾向ありし然るに天候は全く雨模樣を見せたるに付き人氣は底弱かりしが二十二日朝來の潤雨は旱魃氣分に乾びたる人氣を緩和すると同時に大阪商報も頗る軟く地方の大賣物あり前場三十三圓六十錢と六十二丁の大下放れに押され前々日の高値に比し百五十丁の大崩落となり尙ほ後場は降雨依然たるため更に下押すべしと觀測されたり

米取引所出願

釜山米豆取引所設置問題につきては大池忠助氏外數十名發起人となり屢々請願書を提出し又は張鴻錫外十數名にても同樣出願せし事ありしも總て不許可の運命を見たりしが今回又々去十六日に至り更に萩野彌左衛門外三十名の發起人にて釜山米穀取引所設立願を釜山府廳に提出せるが今回の發起人は前二回の顏振れと全く異にせり

松永知事訓示

二十二日午前十時松永京畿道知事は道廳內に於て第一部長第二部長警務官列席の上第三部警察官及び府內分除長署長に對し執務に關し一場の訓示をなしたり

京畿第三部長

左の通り任命ありたり
任朝鮮總督府道事務官（四等）　京畿道第三部長を命ず　秋田縣警察部長　千葉了

鐵道事務引繼

二十二日午前總督府に於て和田新任鐵道部長は青木前鐵道局長より事務の引繼を受けたり

村田少將申告

總督附武官たりし村田少將は今回官制改革の結果軍司令部附となり二十二日朝十時軍司令部に出頭宇都宮軍司令官に申告を爲せり

憲兵隊員申告

道級官制改革の結果兒島憲兵司令官以下憲兵隊司令部各將校は二十二日午前十時軍司令部に出頭宇都宮軍司令官に申告を爲せり

聯合送別會
前長官等の爲め

宇佐美前內務部長官、小原前農商工部長官、鈴木前度支部長官、關屋新任岡縣知事、久水前外事課長、萩田前總務局長、久芳前人事課長の七氏は今回退官或は轉任し近く朝鮮を去る事となりたるに付き來る二十五日午後七時より朝鮮ホテルに於て官民聯合の送別會開催さるべきが贊成者は總督府は廿三日正午迄文書課（電話構內十一番）に京城府廳は二十四日正午迄（電話構內十二番）へ申込むべしと會費は五圓にて當日持參すべしと

前長官等送別會

總督府職員の主催にて二十三日午後五時より景福宮內慶會樓に於て今回官制改正と共に朝鮮を去るべき宇佐美、小原、鈴木、關屋、萩田、久水、久芳氏等の爲め送別會を開催する由

○酒井前遞信技師送別會　今回遞信技師を退官したる酒井三郎太氏のために遞信局有志は二十二日夜京城ホテルに送別會を開けり尙ほ氏は永樂町二丁目に今後就職を待なむ由

出張所移轉

東洋拓殖會社の全南榮山浦出張所は羅州郡宮三面の土地問題のため同地に設置するを便とし東拓は數年前宮三面の所有地問題も解決したるにつき全南の出張所を榮山浦に置くは金融其他の都合上不利少からざるにつき近く經濟上の中心地たる木浦に移すことゝなり既に出張所職員舍宅倉庫等の建築敷地を買收したるが建築は明春の解氷を待ちて着手の豫定につきその移轉は六七月頃ならんかと

荷客連帶取扱

鐵道院にては今般新舞鶴間運輸營業を開始したるが朝鮮線とも旅客荷物連帶取扱をなすべしと

局長東上發期

河內山朝鮮總督府財務局長は廿四日又大塚參事官は廿六日東京出發赴任す可し（東京特電）

當分休養したい
小原前長官語る

小原前農商工部長官を退官の挨拶せる後長官室に訪へば例の快活洒脫振りにて次の如く語る。『僕は去明治四十三年總督府の創始と共に十月一日の日附を以て總督府事務官を拜命した足掛十年公私共に長々御世話になつた。僕は近來健康を害し本病の糖尿の方は殆んど全快したが森安君に見せると心臟衰弱の氣味があるので機を見て當分休養し度いと思ふて居たが丁度好い機會に本懷を得たとも言へよふ。東京から朝鮮に來た時素裸で來たが今度歸るにも同樣で本來無一物的である、朝鮮の爲め何れ丈け盡くしたかは別として朝鮮に來て僕でも膨らして歸る樣では相濟まぬと平素思ふて居つたが此點丈は洵に快き次第である。東京は本鄉區曙町の自宅に父と娘が住んで居るから差向き其處に落着く事となるのである』

財界閑話

內地の煙草値上があつてから朝鮮の官煙も必らず引上げらるゝと云ふ豫測を市場に生んでゐる▲此頃京城や仁川や釜山で敷島や朝日を買ほうとしても殆んど得られない▲或る人が馬詰當務に『會社が賣り惜しんでゐるのではないですか』と冗談半分に聞くと▲君は『ナーニな白ふ、會社は能力を舉げて製造し、毎日略均しく出してゐますよ▲唯需要は非常に多いけれど製造力はその四割にも足らないと云ふのは事實である▲然し乍ら市中に朝日や敷島の影を見せないのは怪しからん▲つまり會社から出した煙草がドコかに消へてゐるらしい、これには目下相當の方法を講じて居ますから今によくなりませう……』と云つてゐた

西鮮行（一）
澤田生

左は旱害狀況視察のため朝鮮銀行より特派されし調查局司事澤田信太郎氏の記者に寄せし當信なり

京義線土城より
西鮮巡遊の途上より一筆啓上。南大門發定時よりも二時間後れ候爲め土城驛に下車せしは午後二時半、黃海道海州行の自動車は二時間も前に發車したと云ふ、後の祭りに空しく一夜を當地唯一の內地人旅館に過し申候、それでも甲斐々々しい宿の神サンが、鷄が啼くやら、風呂を沸かすやらの歡待に氣を直し、東拓出張員猪股君を相手に大に時事を談じ、若者の浪花節を聽きつゝ、深き眠に落ち申候。內地人の居住者五十に充たず、而も概して鮮語を善くする故感服の至りに候

突破二十里
今日も赤復急行車四十分の遲著にて、總成江の河口碧瀾渡、ヽータで越しはしたものゝ、其先が自動車の接續なく、大に閉口致し候。今春旱魃の本場たりし地を踏んで、而も內地人は小生唯一人聊か心細く存候へども幸に鮮人にして日語を善くする成先生と道伴になり、二十里程を無事に通過して夕景海州に入り申候。途中數次牛群に會したるは、旱魃の爲め山野に飼料を失ひたる耕牛を放賣したるものなるを知り、無量の感に打たれ申候

旱害に風害
土城の冷氣に引き替へて、海州は殆ど熱氣滿々の感有之候、脚に任かせて訪ふ程に、聞く程に愈々旱害の甚だしきを知り申候、昨日小生の通過せる延白地方は、概して稍々、水稻は七分作と報ぜられて居り候も、畑作は一點の雨露を得ざるに加へて颶風の被害を受け、所謂眞枯れの慘狀を呈しつゝあるは同情に堪へず候。黃海の首府海州に近く首陽山の横はるを見るは甚だ皮肉の感に堪へず候

其の日その日

◇政府の態度軟弱也とて、山東民憤慨し、檄を四方に飛して訴ふ。山東民として尤も也。其の言の如く、一小問題に非ざるや明か也。◇居留地の專管と共同は、實利上大なる差違もなく、寧ろ之を讓つて世界の大勢に順應すべしとは、政府の見解に似たり。是れ居留地を十呂盤に載せて、其利害の計算を主とするが如く、賛成を表する能はざる也。◇山東民の意向も亦、十呂盤上より出たるものありて、吾人亦取る能はず。吾人の主張は、苟くも一度得たる權利は、其質の大小に拘らず、國家の體面上、之が維持を飽迄も主張せざるべからずと云ふに存す。◇旱天に雲虹を望むのみにても、狂喜するは今日地方農民の情態也、ましてや降雨來る、彼等は抃舞せしなるべし。彼等失望の淵より、救はれたるの感あるべし、吾人亦農民と共に此の降雨を祝せざるを得ず。眞に蘇生とは其れ之れを謂ふか◇市中鮮人勞働者等の生活難は、日に益甚だしきが如し、二十一日の如きは、朝鮮餅を以て一升四十二兩を唱ふ、即ち換算せば八十四錢也。而も其高低、朝夕に異なり、小賣店に由つて相違す、若夫れ此儘放置せんか、洵に憂ふべきものあらむ、吾人の痛心に堪へざるは之事也。

人事消息

▲サモンス氏（上海駐在米總領事）二十一日夜安東より新義に著
▲佐藤恒丸博士（朝鮮軍々醫部長）馬山に轉地療養中の處二十八日頃歸城の豫定
▲平松軍參謀　定州に出張中の處二十五日歸城
▲石田千藏氏（軍法官部長）嚴父病氣の爲め二十三日朝發三週間の豫定を以て大分に歸省
▲中根信一氏（京都高等藥學校教授）二十二日に朝入城不知火へ
▲久松彌氏（予備）同朝鮮ホテルへ
▲高野省三氏（三井物產京城支店長）二十二日朝東上九月下旬歸城豫定

和洋金物一式
株式會社磯々商會朝鮮特約店
京城本町三丁目
佐藤半次郎商店
電話一四一三番　振替口座京城一〇〇番

稻扱機
業務擴張の爲代金は使用後割拂
東洋
取引案內無料進呈　大阪西區九條中通三丁目

簿記通信教授
寄宿通學部　自宅獨習部　本邦唯一の容易成功保證
男女生徒募集　本科三ヶ月卒業の上就職せしむ
採用申込多數目下入學好期
大阪市天神橋筋西貳丁目六一九　簿記會計學館

戰後の劇務を處理する第一步はパイン萬年筆の使用に始まる
優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり
發賣元　京城日報社代理部　振替京城二〇〇番

自動車 速成科 學生募集　日本自動車學校
自動車講義錄　飛行機講義錄

中村組平壤支店　金物鑛油石炭煉瓦各種
中村組鐵工所　水道用鐵管並に水道用器具諸機械製作並に修理
中村組煉瓦製造所　耐火煉瓦赤煉瓦各種

清心丹　東京日本橋　高木與兵衛　大阪
懷中要藥

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千六百貳拾萬圓
總預金　參億五千萬圓
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三

金波銀波
五道沿岸汽船行記
あゝ十五夜の月　長興に向ひつゝ

日清役の我海軍根據地、突如近き海な木浦邊の夜、鰮の叫ぶ聲、甲板に立つ、夜を惜みつゝ長興港を出て

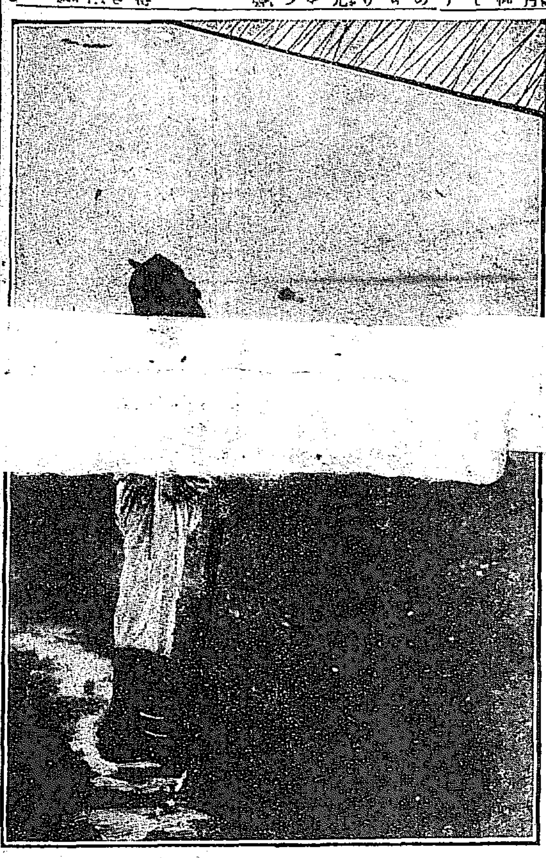
日は落ちた、船は今長直路に出て居る、暮天に高く右舷に…の突兀たる山脈が、海を…く様に聳ゆる、左舷には古今島、正面には助薬島が連なる、此長直路は日清戰爭當時の、我海軍の根據地であつた、文祿慶長の役にも、我海軍の一時根據地として居た處で、大分因縁のある處である。船室に這入つて居たので氣が付かなかつたが、間もなく船は長興に着いた、昇降客の騷がしいので甲板に出る、只見れば、

滿天水の如く　明月は漫々たる海上を照して宛然太古の趣きがある。あゝ今夜は十五夜の月だ、と側に居た事務長が月を仰いで云ふ。彼方には高く連つて黒い山も見わる、其の裾を縫う白くボツと魔の如く立ち罩めた煙の中から、殊に赤い燈火が點々と見わる。浦邊の夜は取り別け靜かな、而して清い月の光りは何物をも清く照す。白銀を延べた樣な海上、徐ろに近寄つて來る小船の、ゆるやかな櫓聲、鋭く、其靜けさを破つて、

黒き船影に　浪は碎けて銀波躍る。思はず恍惚たらざるを得なかつた。心ありてや船人のさゞめきも低し。突如近くの海上に當つて、物の怪せるに振り返ると、ゆらりと浪は碎かれて、小さき波紋は此方へ、扨「はさ耳をすませ、目を放てば、船尾に當つて、何物が跳る音す、鱸だ！と叫ぶ聲が聞わる、と靜かな海面に忽ち波打つて、月を映じた水面はキラリと輝く、やがて又其水音が、彼方からも聞わて居る。大分の群ですね、と背後から話聲も聞わる、夜の更けると共に、月は益々澄んで、

鱸の跳る音も　少なくなつた。送迎の小船が、靜かに舷側を離れて、何時しか立ち罩めた淡い夜霧の内に、流るるが如く魔の如に次第に其黒い姿を消して行く、唯最ふ照し返す月の下、白く閃く海の上に、煙の如に、心持黒く鰮聲は泣が如く、くやむか如く、ギーく…調子で聞わる…四方の靜けさを破…吼ゆる樣な氣笛が…

船尾の海に　沸立て…白く渦巻いて…鳴ると、船は此の…港を見捨るので…ら此の殺風景な…の靜かな眺望を…ではなかつた、…つまだ甲板に立つ…を見送つて居る…煙は時々月光を…悽かつた、…たのは瀬氣か、


あゝ好い雨だ

朝鮮は素通した
今の處抱負も何も話せるものか　取敢ず單身赴任　赤池新内務局長

十三日内務省の召電に接して上京した赤池靜岡縣知事は朝鮮總督府内務局長に榮轉と確定して十八日夜半靜岡に歸つた、十九日靜岡縣廳に氏を訪ふと、鞅掌として曰く

發表以前　だからまだ何とも話も出來ない、發表かね、二十日とか云ふがそれも私はよく知らぬ、水野新總監からさう云ふ話のあつた事は事實だ朝鮮は曾て内務省にゐて大正三年に

洋行した　際に往復共素通をしたのみだから朝鮮の事は何も知らぬ全く初めだ、初めての處へ行つて抱負のるのにかね、まア貫つて來る外ちそんな譯だ

今月下　で行くか家族考へ中だけれきたいと思つ…

爆薬で粉碎

平北間川郡…兵中尉は…憲兵及び補助員並に家族を連れて煮炊用具や酒なして午後四時頃より商川の漁撈を催したるが一行中の某兵某は沒收品なるダイナマイト約五十個を携帯し漁用に始めは順調に點火投下し午後五時頃の第三回點火に引火面白からず一旦點ものゝ更に點火し方に投じする一刹那轟然として於て爆發し左手を粉碎され一同は驚き驅け寄りて不省に陷りたれば芳澤分隊長を當を施し公醫の許へ送りしめたるが非常の重傷なるも生命に別條なかるべしと

盗掘團
入仕掛の　金剛山中は今が最好の季節

山中の盗掘團は其後跡を絶たかのやうに傳へられて居る實はさうでない最近金剛山中では伐木盛んに行はれ之に供給する米栗の如きも…勝して歸つた人の談に依る

山中に　公々然と撰ぎ込れてをる彼等が今が最好の季こまでも思つて居るのが近頃各所の方でも檢擧の手を緩めてるとを好い事にして盗掘をやてをるらしく、彼等は其不正掘を大仕掛でやる地點から常に數丁も前方に見張りを置いて若し官憲若しくは怪しい人の來る時は猿の如く飛んで來て之れを報告して四散してゐる若し相手が一人か二人であつた場合は

危害を　も加へまじき權幕である、自分は恰度其方面に出たが多數盗掘團の爲めに遮ぎられて止むなく引返したが、こんな不逞の徒が今日まで金剛山中に横行させて置くのは甚だ不安である何とか驅逐方法を講じ之を全滅し度ものである（元）

取引所事件の審理
一兩年は費る
證據書類を見るだけでも大變　保釋を許すか何うか判らぬ【仁川支廳小野檢事談】

社會の耳目を聳動した仁川米豆取引所破綻事件は目下仁川支廳小野檢事の手に依り豫審著々進行中なるが同檢事は語る

取引所事件は朝鮮は勿論内地に於ても未だ曾て其類例のない大事件で頗る復雜して居るだけ其審理は容易でない取引所の報告に依ると其額は百八十萬圓約

二百萬近い　金額となつて居るが事實如何であるかは其根本から細密の調査を行はねばならぬ從つて會社の申告などは何等の價値が無い事になるから計算は頗る面倒である證據書類は汗牛充棟も啻ならぬ位で先づ小切手十餘萬枚を始め簿記帳一千數百冊其他の物件三千餘點に達して居る此莫大な證據書類を一枚缺がさず悉く

目を通して　それに依つて審理を進むるのであるから一朝一夕、半歳や一年で出來る業ではない試みに新聞紙の十萬枚も繰つて見給へ繰る丈でも容易な事ではあるまい況んやそれを一人で細密な調査を遂ぐるのであるから殘暑の酷しい此節午後の四時五時迄働いてゐても僅かに…

前途の豫想　が出來ぬ位である、それでも着々進行はして既に二三の被告に對しては訊問を開始して居るが世人が想像する程今月や來月と然う容易に終結を見るべきものでなく恐らく今後五箇月十箇月を豫想して得ないのみならず或は一兩年の長日月を要するかも知れない

目下十九名　である被告…係被告は…保釋なと云ふ事は一通り被告の審理が濟んだ上、それも其時の事情如何による事であるから勿論豫斷は出來ない

淋しき涙
筑紫の女王白蓮女史の惱み

柳原伯の令妹で才色兼備華族界の花と謳はれた燁子女史が清淨無垢の處女の胎を抛つて西は九州筑紫の石炭王五十歳の伊藤傳右エ門氏が後妻に嫁いだのは早や八年の往昔となる其當座こそ世間の人の噂にも上つたれ今では社會の一隅に忘れて伊藤白蓮女史と呼んで別に不思議とも思はれぬやうになつたが其寂しい秋雨佳人の胸奥は何とも…小さき胸に抑へかねて…なれる才女の性質には冷かな微笑みに浮世を渡り行く其の心の裏や如何…

…頃芸者宮崎さゆり女史に寄せた消息の中に右の近詠數首が認めてあつた

うす情、これも運命と仕へける八年あまりの泪しき泪

死を賭くるそはいと安し我の悲しさ我血は悲し我血は悲し

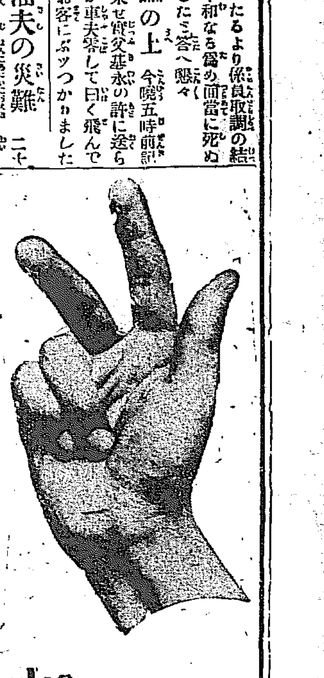
愛でながら我と怖むとこの人の

不思議の作にか今も驚します魂は天に縋なば泣きたれど

この身さながら魔に從はる心なき何處れの我うたな

あらぬ心にさかれうたはれ百々浪ならずや何を血を吐いて啼く

杜鵑の聲を聞くやうである、あはれ何時の日に彼の女の夢安からう！



避暑地投票締切
あと三日!!
山か海か、南か北か

面當の投身
車夫手古摺る

廿二日午前一時頃京城本町野村組の車夫中山某が客待の折柄京城府八判洞四十九番地黄基永(三)が來り龍山まで還れと云ふに

良き椋鳥　御坐んなれと計り元氣よく輓き出し青葉町に差掛るや一杯飲んで行かうと飲食店青裝に入り車夫にも飲ませ自分も鱈腹飲んでから更に人道橋にやれと命じ人道橋の袂に來るや一寸下りて呆れと云ふにぞ車夫は小便でもするのかと見ず明りに透かして見るにさはなくて投身せんとする樣子なるに

吃驚仰天　し此の物價騰貴の折柄車賃までも棒にしては堪るものかとあわや投身せんとせる後より抱き止め進ニ無ニ龍山憲兵分隊に引摺り來り右の由を訴へ出でたるより係員取調の結果兄と不和なる爲め面當に死ぬ積りでしたと答へ懇々

説諭の上　今曉五時前記車夫に乘せ實父基永の許に送らせたるが車夫零して曰く飛んでもないお客にぶつかりました

注油夫の災難

二十日午前十時半頃大邱驛に於て釜山行混合列車組成の際貨車連結器不具合なりしを發見して注油夫趙出伊之が修理をなしつゝありしに操車方の百武直吉は右注油夫趙が線路の内にあるを心付かず入替機關車に貨車一輌を連絡し更に之を前記車輌に連絡せんとし合圖をなしたるに衝激しかりし爲め趙は線路上に轢倒れて左足大腿部を轢傷されたるを以て直ちに鐵道醫の手當を受けしめたる上慈惠病院に入院せしめたるが生命には別條なかるべしと

電話交換能率が減退する
交換手が不熟練な上に仕事の分量が多過ぎるから
電信も苦情百出＝服部局長の談

此頃電話交換で大分吐言があるやうである電話ばかりでなく電信でも苦情百出してゐる服部遞信局長は語る『電話交換の能率が低下したのは事實です設備が不足なのに交換手が不熟練で其上に仕事の

分量が多い　のですから能率が著しく減退してゐるが今の所では交換手の技能を進めるより外に方法がないので專ら其點に努力してゐます物價騰貴の今日十五圓乃至廿圓の給料では交換手でも落著いてゐませんで此は何とか增取させたいと思ひかけてるますが

豫算の關係　で如何とも出來ません電信も内地線が不通であつたので十九日あたり迄る…

此間相場を　やつてる人が電信遲延の爲めに非常な損をして殆んど倒産に近い悲運に陷つた人が二人來て局へ泣き込んで俺を殺すのかと云ふ權幕でしたが局の電信係の説明をしたので納得して歸りました此頃は市内の相場屋から一人電信係と云ふのが出來て

窓口に一日　付いてゐて電信が來ると其人が窓口で直ぐ受取つて夫々に電話で報告して居るやうです』

喜雨來、萬物甦る
一滴千金農家愁眉を開く
是で米價も多少下らう

各地の旱魃も至誠が天に通じたか打ち續く大旱魃に忠清南北道、黄海道、京畿道の各地方は多少の降雨を來し各地共に稍愁眉を開き…野菜、豐作物等も多少は下るだらう、目出度し

…京城では鮮人達が一週ばかり前から三角山で三日、南山で三日降水の祈雨祭を大旱の空に…をやつて毎日雲霓を望んで居た、京城神社では十九日の夜更に京城神社の厳かな新雨祭の

神事を營　んで全鮮千五百萬の蒼生の爲に祈つた其の至誠神に通じてか二十二日午前八時頃から俄然京城を中心として一滴千金の歡びの雨が降り出し一時は雷鳴を伴なつた夕立性の大雨さへ降出したので今迄生氣を失つて居た田や畑は固より草も野も山も其他萬物の

悉く甦り　農家も商人も手の舞ひ足の踏む處を知らず跳ぶばかりで天に向つて感謝の意を捧げた…

坪七斗
午前十一時迄の降雨量

今回の雨について京城測候所では語る『未だ各地からの報告が入らないので氣象の大略は豫測出來ませんが京城は本月一日夢な虹雨があつたのみで今日迄燠けつくやうな暑熱が續きましたが今朝午前七時四十分頃から突然雨が降り出し八時二十分からは西空に雷を伴なつた夕立性の大雨が沛然として降り出した九時頃から幾分か雨量を減じたが十時十分迄は續き其後も細々微雨が降つたり止んだりしました、恐らく今日中は此狀況で降るに違ひない午前十一時迄の雨量は三十八粍であるから一坪當り七斗となる譯です先づ此の雨で旱魃も多少緩和するでせう』云々尚雨は昨夜龍岩浦にも降つたと云ふ事であるが各地の天氣模樣から察すると北鮮一帶も相當に濕つたらしい

野菜類は
恢復の見込　稍には少し不足

京畿道廳の勸業課長は語る『喜雨に千金の雨です過般發表した旱魃の報告通り京畿道は各地共作物は枯死に近い慘狀でしたが先づこで取止めたと思ひます朝鮮では昔から旱魃等に際すると地方官の徳の薄い爲だとして引責問題などが往々起つたものでれる今度の旱魃にも種々の流言浮説があつたが此雨で一掃されるに違ひありません午前十時の調査に依ると堅い地面で二寸位の濕りがありますから野菜類は恢復するでせうが稍や森林などは今日中降らねば充分の恢復は出來ますまい尤も此間の旱魃報告は或は幾分誇張されてゐるかも知れぬと思ふので更に充分調査して的確な數字を得たいと思つて居ます』

…邑里蓮池里…は毆打死罪として檢事局に送られたり

共謀で詐欺

住所不定金資鎬(三三)李運河(六七)安鍾光(四六)の三名共謀の上鐵原郡資盛山地藏庵建築費又は修繕費寄附名義にて本年三月以來京城府仁寺洞二六〇番地申泰和始め數人より二百五拾圓を騙取し衣食に消費したる事發覺し二十一日鍾路署に檢擧され一件書類と共に檢事局へ送られたり

涼み淨瑠璃　廿一日夜

龍山あら玉樓で催されたむつみ連の納涼淨瑠璃は久し振りだけに好人氣であつた、石水の赤垣、腹が出來てゐただけ源藏の思ひ入れもよかつた榮榮の二十四孝、語り口は若いが惡いが所に語い物だけに好評、尼ヶ崎は新口になつた忠樂の忠四(糸三造)は上の文へた所もあつたが器用に語り消化したのは感服叶の野崎(糸加太夫ツレ玉糸)ドツサリの責任ありとて序たら〳〵の大車輪、叶若としては頃の出來榮、涼風が立つただけに客足も多かつた

旱魃の頃

▲大旱魃の爲め畜牛を手放すものが多くて旱魃地方のみ定期市場で牛の出る事は夥しい數の蹄である▲從つて活牛の値が暴落して從來一頭百八十圓位ものが百圓内外に下落して内地の商人は盛んに活動して買收に從事してゐるさうだ▲市中の肉屋も地方が此形勢であるから牛も大分安く手に入る樣になつてゐるので牛肉の小賣値段も安くならなければならぬ筈だ▲此際家庭の主婦達は大に…りであらう又鷄卵も農家で安く喰へるこのと▲先達て安東縣に下しで治療中であつた虎列拉患者は終に全快して二十一日内地へ向け出發した▲此患者には經驗ある警部と巡查と二人が附添ひ切りで保護して居たさうである

仁川の虎疫
陰性と決定

十九日仁川に疑似虎列拉患者發生し大消毒を施し患者は寺町病院に收容して充分の手當を施しつゝありしが其後檢便鏡檢の結果虎列拉菌を發見せず陰性と決定し二十一日午後一時關係家屋の隔離を解禁せり

泥棒殺さる

去る十一日午前五時頃全北井邑郡…川末次郎方納屋へ一人の曲者忍び入りたるを同家の雇人林某が發見し棍棒を以て毆り倒したるに其儘死亡せり犯人は非…

伊太利文豪
歡迎の大飛行
東京から朝鮮へ
西部戰場で勇名を轟かした　茂呂五六氏の壯擧

曾て佛國航空隊に從軍し西部戰場の空中戰に勇名を轟かしたる我民間飛行家中の花形茂呂五六氏は歸朝後直に川崎造船所の技師となりしが今回伊國文豪ダヌンチオ氏の羅馬より東京までの大飛行を敢行するを機とし氏は我航空界を代表して歡迎飛行の意味を以て東京朝鮮間大飛行を試み空中に於てダヌンチオ氏を迎ふべく然して伊飛行機と機翼を連ねて一行を空路東京に嚮導する事となりしが、爲上京中の氏は八日帝國飛行協會を訪ひ徳永大佐臼田主事等と會見し其希望を陳述すると共に着陸場其他種々援護を求むる處ありたり（東京電報）

仁川期米
二十一日後場（前不足）

寄付の猛烈買に因る全面又好く買四十九錢と崩れしかも因の買向いに六十錢と暴返せし折大阪前出三十八圓五十二錢と高値を報じ…

二十二日後場…

連絡船上陸客

廿一日午後八時入港德壽丸二等客（八十八名）王志郎、何世鍋、山本誠三郎、稻井上たつ、今井かね、田中清一、多吉、諸鹿央雄、富岡信次…次晦、柴田純宏、中井豐藏、同い田中繁夫、島崎重一、福島大三郎…

廿日午後入港常岐丸二等客…木村外、陸…井ちよ、有本房之助、川合信三、伊藤補太、秋山良、石井周六、同住江、八木…

天氣　曇但小雨

▽日出五時五十四分　▽日沒七時十七分

演藝案内

壽館　本町一丁目　電一〇五〇　桃中軒秀右衛門一行　浪花節…

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞會社代理店　…特作「スパイ」全五千呎

浪花館　京城本町　電話二六〇　…落語歌舞踊…

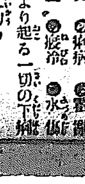
壽座　京城本町　電話九七八　…新派…美團一行…

喜樂館　…浴槽の危難…異郷の人…

文樂座　本町五丁目　電二〇八番　…兒雷也…

桶屋　…

乱菊　…



中風病

余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したら遺傳系統に因…

電話　謡物東京…本町二丁目…

くだりどめ
清腸
殺菌性に富める!!　最新良剤　高貴薬配合

高橋盛大堂藥局試驗部創製

腸は一回にて大効あり

主効　腸加答兒　◎痢病　◎霍亂　◎疫痢　◎水瀉　◎其他諸病より起る一切の下痢

特長　清腸でくだりを止めた腸工合のいゝ事

價廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、貳圓

本舖　大阪市堂島元蜆橋　高橋盛大堂藥局
發賣　東京市神田柳町　高橋盛大堂分室
同　上海英租界交通路　高橋盛大堂出張所
同　日信大藥房

◎到る處の藥店にて販賣す

第五版

奉天より（上）

最近傳ふる所によれば寛城子事件に對し特派されたる支那外交部員と稱する王嘉澤なる者の言動は殆ご正氣の沙汰とも思はれず如何にも奇怪至極の事なるが寧ろ其愚や笑ふべく今尚ほ公然狂愚にも等しき言行を敢てして恬然恥ざるのみならず却つて日本側を愚弄し去りたるかの如く思惟し居れるが如きは支那自身の爲に悲しむべき事なると共に向後日支の國交上に及ぼすべき影響甚大なるを想像し大いに憂慮に堪へざるものなくんばあらざるなり聊か事情を具して彼等に悔へんとする無用の事にあらざるべし

即ち曰く『支那兵が日本兵に對し發砲し多數の死傷者を出さしめたる事は相違なきも斯の如き行爲に出でしめたる原因を忘るべからず只臨時支那兵が多數にして日本兵が少數なりし爲め日本側に死傷者を出さしめたるも兩者其の敵を轉換し居たらんには其の結果も亦自然轉換せずんばあらず故に該問題は日支兵間に於ける一の私鬪に過ぎずして日本人が思惟せるが如く斯かる重大なる問題にはあらず』と吾人は此の明言を聞くに及びて呆然たらざらんとするも得ざると共に其の暴言に驚かざるを得ず今更其の原因を云爲する要なし縦しも事愛に及べば一言なかるを得ざるものなり

寛城子事件は寛城子に於ける突發事件なりとは云へ該事件を勃發せしむるには何等かの原因なくんばあらず即ち我が長春附屬地内に於ける軍馬の徴發及び武裝したる軍隊の通行拒絕等が當時の支那兵に多大の反感を抱かしめたる最大原因なりと其の當時支那側も等しく容認したる處なり是れ日本として當然執るべき方法を執りたる迄の事にて是れが爲めに對日本の反感を醸成したるは其の罪彼れにあるや明かなり是れが爲め日本警官官吏の虐殺は行はれ邦人及び官憲に對する襲撃は繼續せられたり此の間日本より求めて本事件を激發すべき行動に出でたる跡些しも有るを知らず

殊に其の當時支那側は聲明して曰く所謂赤旗事件なるもの一部に殘存するが確實に突き止めたる其の保護人は長春城内に隱匿しあれば何れ遠からず其の結果を天下に發表し果して吉林の罪か奉天軍の魔手の延びたるかを明かにすべしと

是れによりて是れを見れば其の原因既に支那側にあり且つ私鬪にあらずして或種の目的を以て對支那對日本の問題となすべく計畫されたるは極めて明白なる事に關するにあらずや況んや日支の兵數既に多大の懸隔を存し且つ日常相互間の和親極めて密なるものありたれば日本側は全然日支兵の衝突などは思ひも依らざりし際なれば眞に不意の襲はれたるが爲め不幸多數の死傷者を出だしたるものにして其は當時の事情上已むを得ざる事にして到底日支兵敵の轉換などは思ひも寄らざる事に屬す斯くの如きは事件突發の際には何人も思惟し能はざる處にして事治まりて始めて兎や角と云ひ得べきもの殊に支那人などの最も得意の壇上なりとなす（未完）

善後策如何
仁川の會頭問題

一時强硬な態度を以て不認可の内意を洩らし好意的に名を藉りて正副會頭の自發的辭表提出を慫慂し來れる總督府當局者も何なる風の吹き廻しか其後の態度頗る曖昧となり今以て

可否何れ

とも決せず再考又三考を與しつゝあるが如し之を以て待ち設けられたる仁川商業會議所の評議員會も未だ同會の運びに至らず不安裡に手の附け樣が無くて今日を推移しつゝあり可か不可か問題の岐る、處此二つに出でざるも總督府の態度今更に一變する譯にも行かざるべく薄弱なる[illegible]にあらずや果して如何なる指令を與へんとするか興味ある問題たるを失はざるべし（仁川）

兇暴なる馬賊團
到所慘害甚し…東淸沿線（下）

其の混亂名狀

する能はざる程にて此他各地一帶に渉る馬賊の要求被害夥しく枚擧に遑あらず露支兵の守備するも其數少なく賊勢强き爲め功を奏せず時々討伐に向ふも却つて擊退さるる有樣なるを以て居住民は何れも戰々恟々として一日も安き心地なく門戶を釘付にして寧古塔或は海林站へ引揚げ來るもの陸續として甚だ多し元來千站一帶の山中は馬賊の巢窟なる上農民の多くは阿片栽培を爲し商民亦之を以て營業とし居るを以て自然馬賊の

乘ずる處となり

年年相當の要求額を提供せしめ居る支那守備軍の充實せる際は討伐を處て潛伏し居たるが時局の爲め駐屯部隊の手薄となりしに乘じ兇暴を始め殆んご無政府狀態を現出するに至りしものなり猶鐵道沿線横道河子石頭河子ヤブリ等東部線各地に渉り掠奪放火殺人至らざるなき横暴を演じつゝあり長汀馬賊團は遂に十三日拂曉二百名の部隊を以て一面坡を襲ひ市街の三箇所に分れて入り込み一時に

四五ケ所に火

を放ちて盛んに發銃したれば官兵は直ちに手分して防戰約二時間に渉りて銃火を交へしも賊勢優勢にして擊退する能はず西風に煽られたる火勢は炎々として燃揚がり市街は火の海と化し遂に目貫きの場所百餘戶を掃ひ其して彼れ等は掠奪を縱にし意の如く振舞ひ漸く午前七時頃南方に向け退却せしが官兵の戰死者一名の外避難者の流彈に斃れたるもの數名を出だし賊は死體十餘を遺棄し去りたり

邦人側にては

死傷者無きも信託會社製造工場外二戶燒失したり猶其後再度馬賊來襲の報頻々として達し住民安き心地なく支兵討伐隊は各地に派遣され居るも未だ功果を收むるに至らず現今東線鐵道東部線に於ける彼等の跳梁極度に達し實に戰慄すべき慘虐行爲を日々演じつつありといふ（長春）

留紙幣の前途（上）
甚しき不利

殆ご反古に同樣なるシベリスキ印刷貨にも足らざるロマノフスキを以て通貨の本位となり居れる北滿西伯利の一帶は反對の物價の昂騰より過激派の勃起或は同盟罷業の被害等悉く悲觀的材料を以て充されて取引上の休止は露貨を暴落せしむるの一大有力なる原因こ也オムスク政府の各聯合國承認問題は一層留下落を惹起するに至れり近くは東鐵給料支拂を舊劵即ちホルワット劵はロマノフ紙幣を以て支拂はむこ公表せし結果殘分信用を想し居たるシベリスキは急轉直下の勢ひを以て暴落を來し今日迄嫌々ながら受取し居たる露支店舗も俄にシベリスキの受入を拒むに至れると同時に先き頃下向に在りたる舊紙幣は俄に頭を持ち上げ漸次昂騰を始めたり、之れを見たる東支鐵道側は大いに狼狽せるも時既に遲く一方罷業者に言明せる關係もあり一刻も早く就業せしむるの必要もあり旁不利を忍んで暴落せるシベリスキを以て賠償せる舊劵こ交換すると云ふ有樣が是し此の機に臨むで双方の非常なる差より生ずる巨利を占むるは何れも支那人に在り、或は小額票の不足を告げ市場頗る困難に陷れるを見て露西亞當局が四苦八苦して漸く維英か小劵を哈爾賓に送付し來るを見れば多數の支那人は一擧にして之れ等全部の小額劵を自己の手中に收め日常取引關係上にて小額劵の必要に迫られ支那人に就き交換せむこせば非常の差少を付して要求し之れを得ずんば不利益を忍び先方の云ふが儘の歩合を出して交換し市場に流通し居るシベリスキ小額劵の如きは普通シベリスキこ舊劵この差約其の半額なるに聚在する小額シベリスキ劵は舊劵こ同樣の價額を以て流通し居る次第を見ても以て其一班を窺知するに足らむ、之れ等は多數支那人の一致して企て居るによるものにして我が同胞は兎に角自國の紙幣をして支那人の爲に常に其の價格を左右せらる、露西亞人の如き實に憐れこも氣の毒なる事なり、支那人は如斯にして常に市價を自由自在に行ふべき力を有するこことも自己の懷合の都合により高下して利潤を獲得するが故に結局日露人は非常なる不利を蒙り商業上によりて得たる利益も此の市價の下によりて損害を生じ氣息奄々たるも亦故なきにあらざるなり

大連の虎疫
益々猖獗

八千の苦力に豫防注射　大連埠頭使役苦力間の虎疫は愈々猖獗を極め來り昨今は益々増加するの傾向にあるより滿鐵會社にては福昌公司と協議の上埠頭使役苦力約八千人に對しワクチンの豫防注射を行ふ事とし數日前より實施し居れるが何に致せ虎疫の如何に恐るべきも衛生の何たるや一向存せざる連中の事とて面倒臭き豫防注射を厭ふこと甚だしく之れが爲め動もすれば逃走する者さへあると云ふ狀態にて當事者は非常なる苦心を以て注射を勵行しつゝありと云ふ

內地人郡守の雨乞ひ
氣受け大に宜し

公州郡に於ては七月上旬以後雨なく田畓の旱害甚だしく民心不安に陷れるを以て郡守は民間の舊慣に據り八月十三日午後九時より山城城隍堂に於て雨乞をなしたるに內地人郡守として此の擧は特に鮮人一般に少からざる感動を與へ彼等は之を徳とし衷心感謝の意を表しつゝあり蓋し時宜の措置たるを失はず（公州）

蠶況
夏蠶（慶尚北道）

慶北醴陵島に於ける夏蠶狀況は掃立後發育極めて良好にして昨年に上簇を終り豫蠶約八十石に上り共同販賣に附すべき數量五十餘石に達し未だ決定的の相場は見ずこ雖も略ぼ掛見當なり（大邱）

道名　地名
避暑地投票用紙
京城日報社

神秘劇 神の娘 全八卷
八月十五日より公開
帝劇に於て連日滿員の大好評を博せる『神秘劇神の娘』全篇劇『栗平長五郎』上場
京日讀者優待券（一枚三人共通）
引・武等　平土間二十錢・二階四十錢
京城　於喜樂館
京城日報社

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	拂込	▲印騰貴 △印下落 二十二日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	△二五〇、〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一九一、〇〇
京電	一〇〇・〇〇	▲六二、〇〇
東拓	五〇・〇〇	△二一〇、〇〇
同新	一二・五〇	▲七二、〇〇
殖銀	三〇・〇〇	▲八四、〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	二十二日前場大引	前日比較
東株	三〇七、九〇	一三、二〇高
同新	二九五、四〇	一二、五〇高
滿鐵	一八三、二〇	一、七〇高
一新	一六一、九〇	三、八〇高
二新	一二二、七〇	一、九〇高

京城現株（標準値段）

銘柄	拂込額	▲印騰貴 △印下落 價
仁取	二五・〇〇	△一六〇、〇〇
殖銀	三〇・〇〇	八一、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四〇、〇〇
電興	二五・〇〇	二〇、〇〇
皮革	[illegible]	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	二八、〇〇
朝紙	一二・五〇	三四、〇〇
商銀	五〇・〇〇	五八、〇〇
同新	一二・五〇	一六、五〇
滿毛	一二・五〇	三四、五〇
滿糖	二五・〇〇	三三、〇〇
鮮煙	五〇・〇〇	一七、〇〇
輕鐵	五〇・〇〇	五八、〇〇
鮮土	一二・五〇	▲三二、八〇
東亞	一二・五〇	▲三六、〇〇
葉莨	一二・五〇	三七、六〇
仁倉	三七・五〇	一六、五〇

東株三百圓拔

東京株式は別項電報の如く今朝大活躍を演じ前日に比し東株一擧十三圓二十錢方躍進し遂に三百圓を拔き新東亦十二圓五十錢高く滿鐵も增資氣構へに昨日の押目は却つて買物を呼びたるもの如く舊一圓七十錢方第一新三圓八十錢方第二新一圓九十錢方何れも引返せり

東亞は底固し

東亞煙草新株は安値には買氣潜在し居りて人氣良好なるも一般に拂込期限間際の投げ物を見越し居れる勝なるが本日の商內値段は證據金拂の三十五圓見當にて人氣の割合に非常の安値こ云ふべく右は滿洲方面の投げ物を待つたる如く後氣配は二十六圓より七十圓を唱ふるもの見當たり出來高は三十六圓以下へは買方より三十六圓にて百枚の買注文入り居れるも七圓以上にては賣應じ兼ね居る有樣なり

葉莨株初商內

資本金三百萬圓を以て創立されたる東洋葉莨會社は賣成人多き爲遂に公募を見るに至らず發起人賣成人にて全部引受濟みとなりし由なるが同社は從來東亞煙草會社にて經營せる葉莨事業を殆んご一手に繼承し全鮮に於ける該事業に供給するは勿論各方面へ三百萬圓の小資本にては不足を免れざるべく從つて事業の進捗と共に第二回の拂込徵收を爲し同時に增資を行はざるべからざる運命にあれば其の權利を熱望する者多き模樣なるが今朝二十五圓迄のプレミアムを以て二十枚の初商內ありたり

仁取株一頓挫

頃來漸騰を辿りし百六十七圓の高値に買進まれた仁取株も賣買無の商勢にて一頓挫を來たし買方の見送りにて幾分安含みの傾向なるが現在の手持筋は殆んご有力筋多ければ安値は存外手堅く賣急がず結局安保合の百六十

鮮土逐日優勢

朝鮮土地株は近く臨時株主總會を開くべしと傳へられそれ迄に相當の株を買集め改革意見を提唱せんこ目論める者あるやにて高値買進み依然熾烈を極め廿三圓買三圓五十錢買を唱ふるに至りたるも手持は先高見越しに容易に賣放たざれば人氣の割に出來數少く本日廿三圓五十錢にて五十枚の商內を見たるのみなり

一二圓見當を唱へ居るも更に取引出來ざる模樣なり（仁川）

特許瓦株好勢

資本金五十萬圓の特許セメント瓦會社はセメント瓦の割安にて堅牢なると將來の需要無限なりこの見込み立ち又初期より一割配當可能この觀測にて人氣あり閣商內ながら十七圓より五十錢（十一圓半拂込）所に取引ありこ

銅株類は氣丈

再び反動安に陷りたる銅價は更に底入れ後の引返しこなり一時の安値よりは六七圓高を示すに至り特に內地銅よりも英銅は形勢甚だ良好を呈しつゝありて銅關係株類は何れも見直しの商狀を現はし居れり同株類には雜の高値の時代に可成り買付きたる傾向あれば之れ等が既に整理せられたるものこすれば更に銅價次第にて一層の好況を呈すべき見込みあれごも此點に關しては多少疑ふべき餘地なきに非ず然も此際整理末了の爲め幾分上値を脈せらる、傾向あるこもそれを凌ぎたる後に却つて好勢を現すべき强みあり彌せられ續けに買狙ひを爲せる向勢なから

仁川期米

高値	四〇、〇四	三九、一〇
安値	三九、九六	三九、〇一
止め	[illegible]	三九、四八

二十二日前場（雨崩れ）

前日より場面悪化して不勢に打止しが引跡大阪の減切高を脱し高氣配を唱へし折柄今朝に到れば俄に天候一變して東南の强風は俄まり空は黑雲低迷時々西南に當りて雷鳴を聞く折しも雨は沛然篠を衝き其勢ひ猛烈を極めて旱天熱に浮かされし買方の氣勢を一氣に挫き阪地高も無頓着に嵌派は活躍して公定ヤロチの高聲に益々市場の人氣沸騰して買方の氣勢を一層爽からしめ狼狽投物續出に立會へば當中出來ざるが先四十三圓六十錢こ强氣が根固せし四圓の堅壘も無造作に叩き破られ六十一丁安に寄付見る〱廿五錢こ雪崩かゝりしが安値は目先利喰い押目待ちの買物に支へられ四十六錢こ二十一丁の跳反しを見るも戻りは投げ物惹み目先利喰いも消化され三十五錢こ押し七八錢に投げこれ利拔きの大混戰を演じ六錢こ不勢に引

▲第二節　當中出來ざるが先三十錢より四十錢こ騰上けしが戻りは[illegible]克く賣られ二十九錢こ下押せしが押目は鮮人筋買物も戻りは[illegible]口克く買ひて三十七八錢を採み六錢こ引

▲第三節　當中出來不申先晴れ模樣の[illegible]に市場の人氣は俄然沸騰して一氣に五十錢より七十錢こ騰きしに三十四丁の反撥を演じたるも[illegible]

▲第四節　先七十五錢こ高値を付して㊂㊃の賣物も消化せられ五十錢迄返し三錢引にて[illegible]

滿蒙毛織の能力

滿蒙毛織會社の奉天に於ける製絨工場に据付く可きミュール及びカード各五臺は陸軍省の千住製絨所より拂下げられ既に同工場地に輸送の運びこなりたり同工場は右を基礎こして製絨事業を開始する筈なるが之による生産能力は一ヶ年製絨六十萬碼也會社は此外天津に於て精毛せられたるものを原料こし奉天工場に於て製絨する都合也こ云ふ

本日の商內株

東拓百十四圓五十錢より五圓迄八十枚▲同新七十三圓五十錢より四圓迄百五十枚▲電興廿圓五十錢より九圓迄百五十枚▲朝紡二十七圓五十錢にて五百枚▲東亞三十六圓五十錢より七十枚▲殖銀八十七圓五十錢にて百枚▲東畜十五圓にて[illegible]▲鮮土二十三圓五十錢より[illegible]五十錢迄五十枚▲東洋葉莨三十七圓五十錢より[illegible]二十枚▲滿蒙三十四圓五十錢にて[illegible]五十枚▲東株[illegible]十錢より[illegible]▲同新[illegible]▲滿鐵第二新百二十圓迄[illegible]▲日銀[illegible]▲亞細亞[illegible]にて九十枚

株
相談に應じ
確實なる利殖法は確實なる株式に御投資なるに限る
京城南大門通二ノ三一
浦長商會
電話長一七三七番
受信略號ウラツ
仁川仲町二丁目電七六九
同　仁川支店
株

米況

下關期米特電

二十二日前場（晴）	當限	中限	先限
寄付	四〇、五〇	四〇、〇四	三九、四八

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
齋藤榮之助
電話長三六七・三六九
電略（サ）又（ヤマサ）

市場雜觀

昨日の後場は阪地の高移りも構はず無作に十六錢こ三十丁も賣叩いたことれを眺めた二三の鮮人は大憤慨して地場が客殺しの賣崩しであるこ血相を變へた事もあつたしが勿論大阪の高いのに逆にせしが安いのであるから高値を擱んでの無い話である八釜敷く云ふのも無理も無い中は八釜敷く云ふのも其れが即ち相場で强氣の目からは賣崩しこ見るでしようが弱氣の目からは其れに過ぎ反動で大阪が高くても其の買に刺戟されて買い支へる丈の力のない處に南鮮筋から高値待ちの買物が現れたので自然足取りが逆に走る其に嫌氣が刺して投けたり手詰を急ぐので全くは强氣が相場を安くしたと云ふのが寧ろ當を得て居るかも知れん▲萬事腹八合こは此處の事であるが併し辛抱する木に金が成るこ云ふ事もあれば腹の立て急ぎはらんが何んでも場面の形勢から論ずれば結局高い相場にしても目先處割れ位いは見るかも知れぬこ云ふた處が弱氣ぎしても何にも材料を握りて居る譯ではなし只玄人賣りの素人買いも旱

◇二十二日前場	寄付	四〇、二六
	止め	四〇、五〇
	高値	四〇、〇〇
	安値	三九、七五
◇公定相場	一節	四〇、二二
	二節	四〇、三九
	三節	四〇、三三
	四節	四〇、六八
	五節	四〇、七〇
◇出來高	四十二萬千五百石	
◇値段	帳入（當限）	四十四圓三十五錢
	先限	四十三圓九十八錢

白米突飛す

玄米市況は別項の如く一轉强含みの人氣を含めるも今朝は尙安値の賣物を見て殊に白米は原料この採算五十三圓近かくに當れる折柄市中卸値は漸く五十圓五六十錢この不割の安値を維持せる丈けに精米所は此處少なからぬ損失を忍ぶ能はずこして昨日頃より一齊賣止め同樣の態度に出で大手精米所又前約注文に追はれ地場供給の餘力なしこて注文に應ぜざれば自然小賣業者は賣附困難に陷り延いては直接需要者に對する供給にも波及せんこする傾向あり斯かる狀態を釀し來れる原因は今日迄白米業者が世評を恐れて値上を躊さへ來れる結果にして同業者間に於ても之に付ては平素隨分頭を惱まし來れるものゝ如く今朝來も小賣値上げの件に付て組合間に小紛々ありたる模樣なるが結局損の立つ商賣は出來ずこて精米所も略ぼ當の立つ値頃に引上げ餘裕の能ふ丈けは賣應せんこ本日は一躍一圓近かくを引上げ五十一圓四十錢處を唱ふるに至れり

支那粟氣崩れ

槪騰又漸騰を重ねて遂に十三圓臺の安値より鰻上りに二十三圓迄この空前の高値に騰進せし支那粟も前日に至り漸く頭打ちの形勢に轉じ海城現物の二十二圓六十錢より八十錢こ小甘き成行きこなりし幾先朝來思ひ掛な降雨を見るに至り買氣一時に

仁川正米市場

不景氣の[illegible]は雜穀類大動搖[illegible]

京城正米市場

久しく旱天打續きて農作物に大なる被害を與へしのみならず漸次他の雜穀類にも影響を及ぼし其範圍も程度も徐々擴大せんこする傾きに萬人何れも雨を渴望する事久しかりしが朝來曇大雷鳴て喜色こ祝福の聲滿都に滿ちたる一面には旱魃こ直接影響ある米穀業者は自己の利害關係より反對に憂色深く殊に仁川期米は雨崩れを演せし事こて當正米市場の人氣動搖又甚しく遂に日昂騰を辿りし一氣百丁近かくの大崩落

仁川米豆取引所仲買人
㊗仲買店
電話一五九・一八八番

雜穀類大動搖

正米及粟は別記の如き成行きに人氣を煽られたる際なれば今朝來の降雨により一齊人氣の動搖を來しつゝあり其內にも小豆の如きは月初の廿三圓より四十五圓こ殆ご二倍の暴騰を演じたる揚句丈けに降雨の反撥は特に大なるものあるべし朝來賣買雨著共に見送り居れば市況は無見當に等しき狀態なるも眼先一齊反落は免かれざるべし

害見越して漸次高く買ひて居る位いに過ぎぬのであるが只一概に素人買ひこ侮りがたい處もある南鮮は時々雨も降りて居るから平年位いは取れるか知らんが夫れも未だ穫に納めん內は安心は出來ぬ農家の最も重大視しされる二百十日二十日も無難に過ぎたこ云ふ理ではなし其上北鮮は今雨が降れば幾分は恢復の處もあるでしよが當局の旱害調査で本月五日迄の發表に反別歩合いで全鮮から三割以上の處もあるこ云ふのだから現在の調査表から考るこ三割乃至四割平均位の減收こ見ても分らんが兎角本年の輪出力位いの減收で止れば相當するかも知らぬが三割減氣を關ふ可し其他の雜穀類も總て旱魃に人氣を煽ふられたる際なれば今朝來の降雨により一齊人氣の動

仁川正米市場

定期は玄人賣りの客買ひのこ大騷ぎが正米市場は存外鈍狀を示して居た此の頃の塲内は殆んど精米筋の外買手が無い位いで自然其の出來高も僅かの小口商內に過ぎないので本日の取引値段は今摺の日出種の上物四十四圓六十錢神力種の上物四十四圓五十錢忠淸道の標準米で四十四圓三十五錢神力種古米四十三圓良郡の上物四十五圓地摺玄米四十二圓七十錢見當にて北島の馬場精米所の買ひ四十三圓四百以乃至百五十俵宛の商談纏りて居り大津埠加の傾向を唱へ稀に示し居るが爲は存外荷主强硬で業者も不引合に買控へ模樣にて更に商內出來ざるが若海道在來種十三錢一厘見當を主張されつゝあるが其他雜穀は益々昂騰の形勢を示し大白豆川物二十圓後つ山物二十一圓五十錢長端物二十一圓見當に思惑者の買望みを有

仁川白米値上げ

仁川白米小賣商は又復本月より一升に付き壹錢の値上げを協定されたり

現金賣値段

一等白米　五十二圓錢
二等白米　五十一錢五厘
三等白米　五十一錢

釜山正米市場

內地期米小弛を傳へ買氣引立ず持合の三等神力四十四圓十錢位にて三千叺許り出來せり大豆京義線十九圓七十錢より二十圓位京釜線十九圓三十錢より十九錢五十錢位を唱へ薄商內（二十二日釜山電話）

各地正米（二十一日）

釜山三等正米　四十四圓九十錢
仁川三等正米　四十四圓五十錢
群山三等正米　四十三圓三十錢
二十日大阪に於ける群山三等正米四十六圓二十錢

小賣白米

一等米　五十二錢
二等米　五十一錢五厘

白米標準値

一等米　五十一圓五十錢

糧穀賣買及籾米委託業
仁川米豆取引所仲買人
田中金兵衛商店
仁川海岸町二丁目
電話長四〇八番

神經衰弱
生殖器病患者に急告
恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ●神經過敏●頭重●頭痛●眩暈●思考力減退●記憶力減退●胃腸病●不眠●食慾不振●全身●倦怠●四肢の麻痺●發育不完全等に苦しむ方は至急本院に御相談を乞ふ生殖器病專門陽春堂院長が多年苦心研究の結果發見したる專門藥ノイラの說明書無代進呈す　藥價十四日三圓五十錢廿日七圓六十日十三圓九十日十九圓送料別
東京神田三崎町二丁目一番地
電話本局一六四六番二二三九番
陽春堂藥院

有價證券
現物賣買
京城吉野町一丁目
長電三十番
㊦古開豊記商店
取引特約店
東京玉塚榮次郎商店
大阪松井伊助商店

宮內省御用達
兵庫縣灘魚崎
山邑太左衛門釀造
サクラ正宗
櫻正宗櫻魂發賣元
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話長八四九番一四五四番
振替貯金口座京城七五四番

元籍大阪市南區難波新地四番町
清水豊二十三才
右不都合の行爲有之候に付解雇仕候爾後何等關係無之此段廣告候也
公債株式現物問屋
京城永樂町二丁目（電話一四九八）
丸五商會有田長三商店
△當店は賣買成立こ同時に端書の案內書差上申候案內到着なきものは弊店の關知せざるものこ御承知被下候

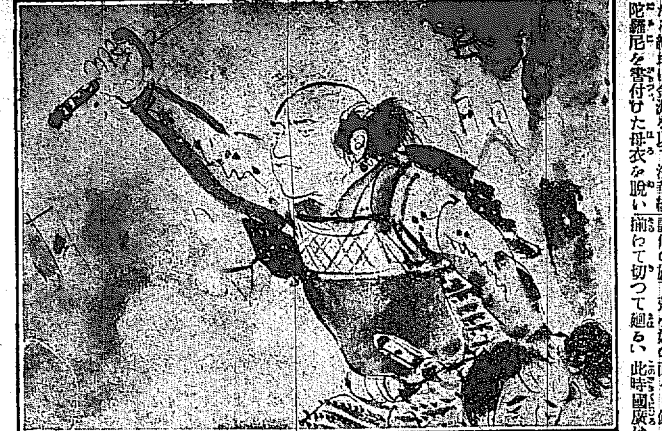
小兒用
大學目藥
此小兒用大學目藥で大切なお子樣達の眼病が忽ち快くなります、それは啻にしまないばかりでなく配劑が小兒用專門的にできて居るからです
定價金十錢
大阪市北區堂島三丁目
合名會社參天堂

日本名刀傳 百卅九

東京 田邊南龍講演

堀川の國廣（十二）

武田典厩信繁、飫富兵部、山形昌景等は越後の先鋒と戟を交へて戰つたが、敵に機先を制せられたのだから散々の苦戰、今は是迄と信繁覺悟を極め亂戰の裡にあつて舍兄晴信を救はんと本營に使者を送り『御覽の如く越後勢を辛く食ひ止めて候へども、一期の合戰と覺悟仕る、早此上は拙者を御助け御無用なり、唯此間に勝利の御策略を巡らし給へ』と申送り、家臣の春日源之丞を招き我が鎧の上に被りたる紺地に金泥を以て法華經の陀羅尼を書付けた母衣を脱いで『此母衣は兄君晴信公の御筆なれば我討死の後敵の手に渡さんは口惜し、汝持ち歸つて倅の信豐に父の形見と渡し候へ』と云ひつゝ鬢の亂髪を切つて一緒に渡した、春日は胸ふさがり涙を拂つて母衣を捧げ、獨り馬を本營へ返しました、後見送つた信繁は兜の忍びの緒をふつと切つて陣頭に進み『清和源氏の後胤新羅三郎義光の孫武田信信の舍弟同前左馬之介信繁なり、我と思はん者は來つて我が首を得よ』と大音に呼ばはつた、此時敵の中より黒糸縅の大鎧を草摺長に著下し黑き逞しき馬に跨りたる大男、槍を捻つて跳り出で『宇佐美駿河、見參……』と呼ばはつて突いて掛る『心得たり』と信繁同じく槍を以て渡り合つたが、信繁脾腹を突かれて馬からどうと落ちる所を、宇佐美の臣梅木某馳寄つて首を搔いた、甲州の軍師山本勘介入道道鬼は風よりも疾き上杉謙信の奇襲に中軍の旗色悪きを見て、『我れ一代の不覺』の御愛の合戰、甲斐の眞危し、我が命惜しくて何かせん』と胸中早くも死の覺悟を定め、頭頂に怒氣を迸せて馬を陣頭に進めて奮戰し遂に戰死しました、信玄の嫡子太郎信義も十八歳の若武者、手兵五百を以て亂軍の間に飛込み散々に敵中を斬廻つた、越後の勇將鬼小島彌太郎は鐵棒を振廻し、ブーン、ブーンと風を切つて右に十人、左に五人、バッタ〳〵と敵を突倒す、其の勢ひ猛き虎の群羊を驅るが如く凄しきことは形容の詞がございません、謙信の旗下荒小姓の面々も鉾を揃へて切つて廻る、此時國廣は已の鍛へたる大刀を打振り、謙信公より拜領したる甲冑を身につけ馬に跨り、敵中に馳入つて日頃の怪力を現はさんと、其の威勢破竹の如く突掛る、然るに敵將山形昌景の陣中より跳り出でたる一人の歩行武者、身の丈八尺もあらんと思はるゝ大男、槍を捻つて國廣を突いた、國廣は『何を小癪』とヒラリ斬下した一刀に槍の柄は斬落された、彼の男憤と刀を拔かず大手を擴げ大音に呼ばはりけるは『我は甲州の佐藤泰之助俊海と云ふ名もなきものなり、唯妖來、力自慢、三十人力はあらん』イザや組まん、馬より下られよ』と云ふ、國廣カラ〳〵と笑つて『コハ面白き力自慢、宜し、組まん』と忽ち馬より飛下りて刀を投捨て兜を脱ぎ兩人ムンヅと許りに組んだ、何しろ甲州の郷士佐藤俊海はもと御嶽の蔵王權寺の僧、御嶽の山賊を退治した遊俗して甲軍に加はつた程の人物、國廣は言ふ迄もなく大怪力、斷れ山に白狐を退治し、孫ヶ淵に泥龜の首を捺いた豪傑、大力と大力、仲々勝負が付かない、其中に國廣は『エ、面倒なり』と双腕に滿身の力を籠め『エー』と矢聲をかけて彼の胃先を押す、怯しもの俊海ダジ〳〵と後へ退つたが道端の石に躓いてヨロ〳〵とするのを透さず國廣は足を揚てドンと蹴る、アッと叫つて俊海は倒れるのを組敷いて、跳起んと藻搔くのを、手早く脇差引拔いて首を搔いた、國廣は刀を揩取つて右手に打振り左手に俊海の首を提げ進んで敵の首を取ること九級非常の働きをしました



牛乳 陸軍病院 朝鮮ホテル 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

京城本町三丁目 野田時計舗 電話七八四番

皮膚科 專門 扇田醫院 京城太平通一丁目 電話二二五八番

忠南 收繭額豫想

忠清南道に於ける秋蠶掃立付卵數は一萬餘枚にして蠶兒は以來の旱害を受けずして其發育は良好にして目下四眠起乃至五齢盛食期中位のもの大部分を占め目下の状況よりすれば千五百石以上收穫すべき豫想なり元來本年は春夏秋蠶を通して九千石以上の收穫をなすべき豫想なりしも春蠶の五齢及び上簇期が非常に蒸し暑かりし爲め失敗を招き約千石內外の減收を來たしたるを以て結局八千石內外の收穫高ならんも來年は大正三年中に植付けたる桑園多く此の桑葉は出盛り期となるべきを以て一萬石以上の收穫を得るも敢て難事にあらざるより今より之に應ずべき相當の準備をなしつゝあり而して大田郡に於ける春夏秋蠶の成績は大體に於て良好なる成績を得秋蠶原種製造の蠶兒も發育良好なる成績を以て上簇し收繭したり其製造高は六千枚內外にして道全般の製造高は一萬一千枚位なりとは本上道技手の語る所なり

八月廿四日

（舊七月廿九日）日曜日 つちのへさる 一白 虚 佛滅 北 大安 たつ

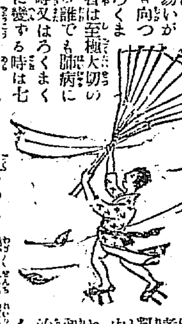
處暑 京城時刻後二時二九

▲一白 ▲兎角油斷のならぬ日
▲二黒 ▲張合拔のする事ある日
▲三碧 ▲望み事の達する日意外な引立を受くるやも知れざる日
▲四綠 ▲幸運の日なれば心正しく事に當らば凡て目的を達せん
▲五黄 ▲仕事の爲築のせざる日
▲六白 ▲あせると失敗り易き日
▲七赤 ▲踏違ひなき樣用心す可
▲八白 ▲當にならぬ事のある日
▲九紫 ▲何となく心浮立たぬ日

◎惡性カゼ再流行の兆 ろくまくハイ病

タダアゲル◇七ふしぎ獨診斷全治實驗 ◇時節柄十九ケ條の大切な注意

一時世人を戰慄せしめた流行性カゼ患者が再び增加しつゝあることである初夏は強壯な人でも身體がダルクなつて抵抗力が弱くなり又朝晩の氣溫が變じあつたり雨つゞきで溫氣が多かつたり兎角健康を害し易いが向つて肺病ろくまくの患者は至極大切の時であるから誰でも肺病に罹つた時又はろくまくに變ずる時は七不思議の徵候が現はれるから豫め診斷法を知つて居ると自分でわかる安原氏は曾て自身肺病に罹つた經驗より肺病の實地のことに就ては實にくわしく明るいのである殊に氏が轉地も藥も効無く減し間もなく全治されたのであるから氏は吾身につまされ溫かい同情を以て時節柄一層世の爲めを考へ◎七ふしぎ獨診斷法時下大切の流行注意十五ケ條及び全治實驗法を希望者に全部無料で差上ますから之由氏から御惠まれ治の肺病ろくまくが助かつた悲々全治の人が意外澤山あり多くの人が幸福を得つゝあれば遠方の希望者は東京日本橋區呉服町二番地安原尚親氏へ照會されよ全部秘封の上無料で送る由



腦とはな ぜんそく

腦病、鼻病、ぜんそくで種々の藥を用ゐて効なく困難せらるゝ方は近信切手三錢添早速御照會あれ患者が知らねばならぬ食物の事からわけなく治る藥を何人にも無料で親切に教へてあげます 東京芝南佐久間町一 上山鎮藥所

いきのめ。いきのめ。ためとめ。不思議によく取る新劑 送料共金參拾錢 東京日本橋木町四ノ七 小笠原大洋堂 振替東京三一八〇 クラウス

旭平麥製造乾燥器 專賣特許第二八九一五番

第一 本器は從來の器械と異り大改良を加へたる理想的逸品也使用の能力は殆ど要せず而して一器にて約卅分間に一俵三日十時間にて約卅俵を乾燥せしむるの能力あり特に本器の特色とする處は全部金屬製なれば極めて堅牢永久の使用に堪ふ

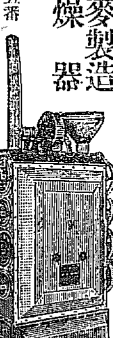
第二 据付場所は僅少の餘地あれば十分にして器械の取扱も頗る簡單容易少しも熟練を要せず人工を節減して製産高を多くする經濟的理想器械なり

第三 特殊の扇風裝置に依り乾燥の際蒸發する水分を絕えず外部に放散せしむるを以て少しも色澤を損する事なく完全に乾燥し永久變質の恐れなし

第四 本器は各種の加工麥の乾燥用に供するのみならず總て乾燥を要する一切の穀類に直に應用する事を得

第五 之に要する燃料は一俵平均木炭約二百五十匁內外にて足る 各地に特別の特約御希望に應じ御相談可申候

說明書無代進呈



製作發賣元 岡山市紺屋町六十一番地 小鹽商店製麥機械部 電話長四百五十四番

宮內省御買上通知書

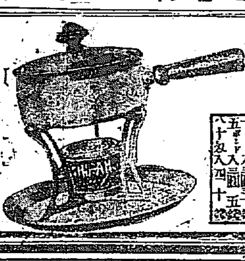
特許第三六九九號 第二九六八〇號 帝國發明協會長阪谷芳郎男爵賞與 全國發明品博覽會銀牌授與 大學工科大學長工學博士服部 農商務省特許公報に曰く「本發明は曲盤ゼンマイの如き破損摩滅し易き機構を用ゐず」堅牢安價なり

專賣特許 クトウ蓄音機 一臺金七圓 荷造送料 內地九十五錢

○○普通の音譜を用ふ ○發音の明瞭は數百圓の蓄音機と同樣 ○玩具的にあらず子供にも容易に使用し得らる ○堅牢なる事は公報の通り ○修繕全く不要なる事 ○萬一破損の際は何時にても無料修繕の責に任ず ○クトウ蓄音機は安價を保つ爲め本商會直接に販賣す、他店になし 說明書無代進呈

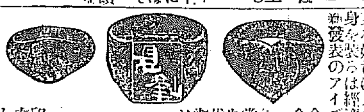
東京神田區今川小路一の三 製造發賣元 藤屋商會 振替東京三六二五五番 電話本局二七六六番

定價 家庭用 壹圓五十錢 旅行用 壹圓四十錢 同乳器付 二圓六十錢 同包 小包料 十七錢



京城日報社代理部 振替京城三〇番

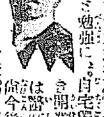
專賣特許 不知火 は在來の石油焜爐の如く不潔不便な物でなく旅行や不時の來客其他火急の場合等座敷の上で即時に湯も沸き御施走も出來而も廉な便利なる事世間に定評あり是非御試用を乞ふ



每に一個形無り比機出し個宛も大さを逸せ二度代こ付指の料を記す上不用 東京芝區南佐久間町一ノ一 金華本商舖

◎金指輪 無代進呈 美を好むは人情なり純金を身に裝ふは經濟之を許さず此發表のアイデヤー金は金張鍍にて金以上の彩色をなし…

●益々有望なる本業副業



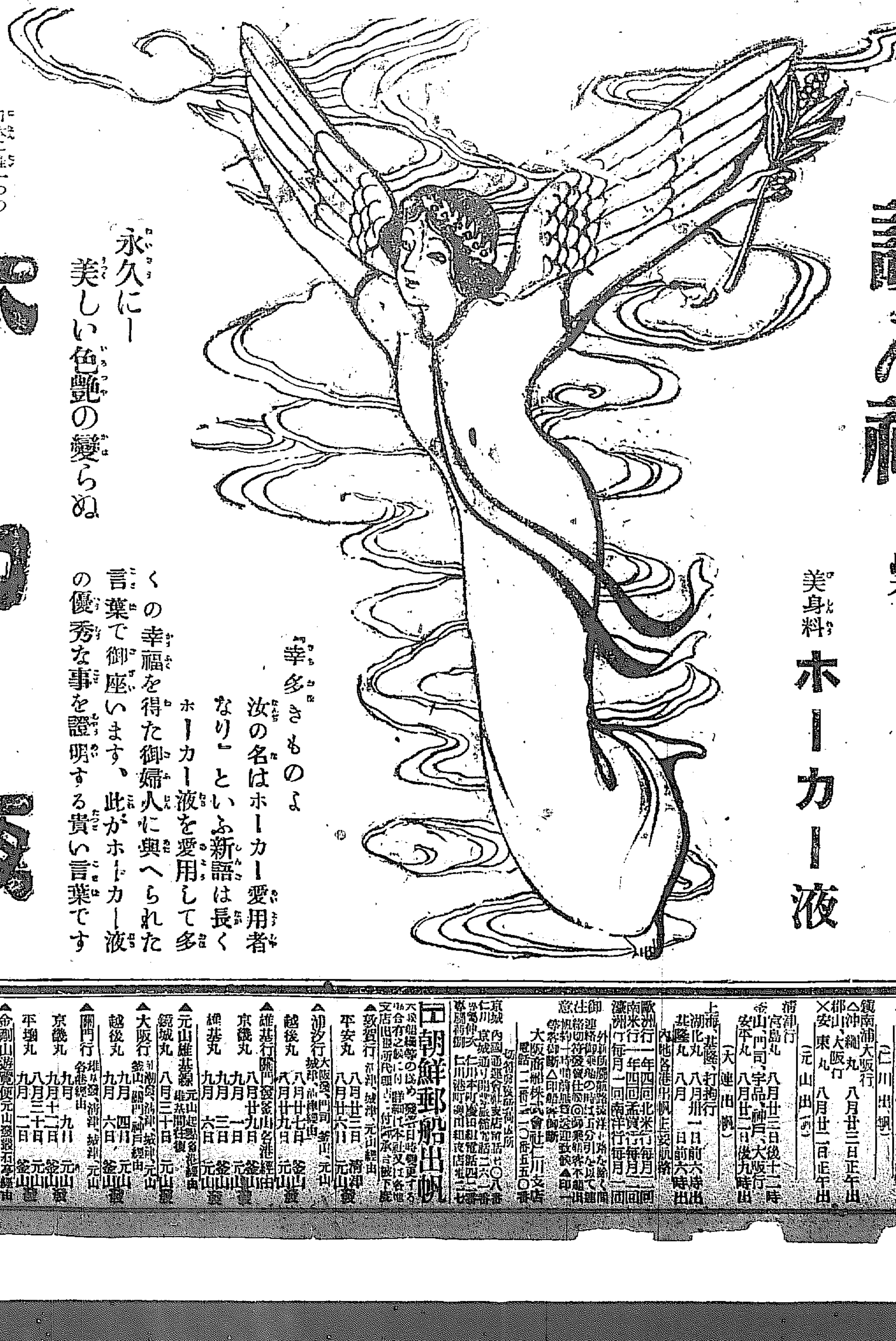
此際秘傳參考書無代進呈 男女六十歳迄至急募集 自宅獨習にて開業の上は…何人も出身の途ありて收入多く…サージ灸鍼術學力小程度 ハガキで申込規則見本一冊進呈 ○東京青山北町七の二 日本鍼灸學院

煙草好む方 大正パイプ 實用新案特許願第九五一八號 一個六十錢

煙草中にニコチン（ヤニ）の中毒あるは如何なる小人にても知る所なるが其中毒を豫防器なきを遺憾に思ひ此に多年研究の結果發表せし實用新案第九五一八號はヤニ吐裝置なれば衛生を重ずる士の愛用品なり高尚優美堅牢にして兩切口付共使用郵便なる理想品なり…定價金六十錢 大正パイプ發賣元 東京市芝區南佐久間町一ノ一 金華堂商舖

處女の美を護る神と崇めらる

美身料 ホーカー液



幸多きものよ汝の名はホーカー愛用者なり』といふ新語は長く多くの幸福を得た御婦人に與へられた言葉で御座います、此がホーカー液の優秀な事を證明する貴い言葉です

永久に美しい色艶の變らぬ

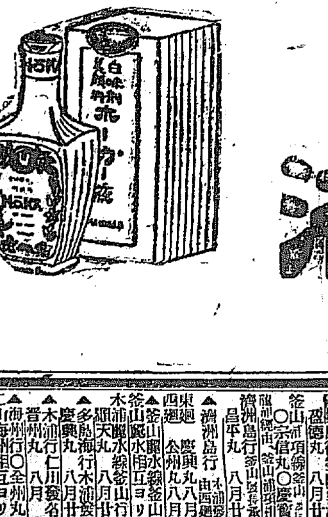
日本に唯一つの理想的臨化粧料

ホーカー液

處女の時に注意せねば美貌も長くは續かぬ

西洋では、十六七の處女時代に最もお化粧に身を窶し段々年を取るに從つて簡單にしますが日本では十六七の頃などは殆どお化粧といふことを頭におきません』それは學校等の關係からですが身體の發育の宜い皮膚の榮養の旺盛な處女時に十分手を入れておかねば美貌も長くは續きません此は處女時に最も注意すべき點で御座います

小瓶 二十錢 中瓶 四十錢 大瓶 八十錢 送料 內地 十六錢 滿鮮 四十錢



▼全國到る處の小間物化粧品店洋品店藥品店等に販賣す 若し品切の節は振替か切手にて直接本舗へ御注文を乞ふ

東京 ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー・パツト ホーカー美髮液

本舗 神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店 電話神田長特 四四四五四 四五三六 振替東京

日本郵船仁川出帆

大連、天津、牛莊行 濟州丸 八月 日正午出帆 高砂丸 八月 日正午出帆 相模丸 八月 日正午出帆 都合ニヨリ早發スルコトアルベシ 仁川海岸町一丁目電話十番 堀回漕店

五光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三 丸 八月 日 釜山發 ◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三 丸 八月 日 元山發 元山 田口回漕店 釜山 大池回漕部 電話二三

大阪商船出帆

（仁川出帆）鎮南浦大阪行 △沖繩丸 八月廿三日正午出 ×安東丸 八月廿一日正午出

（元山出帆）清津行 宮島丸 八月廿三日後十二時 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 八月廿二日後九時出

（大連出帆）上海、基隆、打狗行 湖北丸 八月卅一日前六時出 基隆丸 八月 日前六時出 內地各港出帆は省略

歐洲行一年四回 北米行每月二回 南米行一年四回 孟買行每月二回 濠洲行每月一回 南洋行每月一回

御注意 外國旅客の豫約御申込は… 大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇番

朝鮮郵船出帆

▲致賀行 平安丸 八月廿三日 清津發 越後丸 八月廿七日 元山發
▲雄基行（關門發釜山名港經由）雄基丸 八月廿九日 釜山發 京畿丸 八月廿一日 元山發 雄基丸 九月六日 元山發
▲元山雄基線（元山迎日各港經由）鏡城丸 八月三十日 元山發
▲大阪行（釜山、關門、神戸經由）越後丸 九月四日 元山發 九月六日 釜山發
▲關門行 京畿丸 九月十二日 釜山發 平壤丸 九月三十日 釜山發 九月二日 元山發
▲金剛山遊覽便 長箭行月六回但六月至十月間 鏡城丸 八月廿三日 元山發
▲鬱陵島行（釜山發浦項及各地經由）盈德丸 八月廿四日 釜山發
釜山浦項線 ○宗信丸○慶寧丸 每日一回
▲濟州島行 昌平丸 八月廿六日 釜山發
▲濟州島行 東廻 慶興丸 八月廿七日 木浦發 西廻 公州丸 八月廿四日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山麗水間每日一回往復
▲木浦麗水線 順天丸 八月廿八日 木浦發
▲多島海行 慶興丸 八月廿二日 木浦發
▲木浦行（仁川發各地經由）晉州丸 八月 日 仁川發
▲海州行 ○全州丸○南陽丸 仁川海州相互ヨリ每日一回出帆
▲鎮南浦行 天陽丸 八月廿五日 仁川發
▲大連青島行（仁川發芝罘經由）江原丸 八月 日 仁川發

本社 京城南大門通（電話長二三三一）
釜山 佐藤町 支店 元山 海岸通 出張所 仁川 代理店 木浦 代理店 京城南大門驛前 取扱店 其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

[illegible]成案し居れる由なるが[illegible]制度と會計法規とは離るべからざる[illegible]を以て右國庫制度改[illegible]納事務の簡便會計[illegible]の金庫に依據せらるゝものなる[illegible]財務行政上得る所勘からざること[illegible]所謂金庫檢査に要せらるゝ[illegible]在年預金制度の採用說行はれた[illegible]當時日本銀行當局は其責任[illegible]なきは勿論一般銀行の實力[illegible]亦充分擴大せられ預金制度の存せざるもの、如し只だ比較的[illegible]

手續法改正

の餘地を[illegible]綴を定むべき商法、銀行條例其[illegible]各般の法規の上に綿密なる改[illegible]に鋭意之が調査に努力し居れる成案を得べく調査を續行すべき[illegible]矢先き幸ひの折柄なれば國庫制[illegible]度圖なりと云ふ

京城日報

（年中無休刊）

本紙定價　一部金參錢　壹箇月前金七十五錢▲參箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增▲郵稅[illegible]
廣告料　五號十四字詰一行一圓五拾錢　同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號[illegible]▲四號九字詰[illegible]　六號十六字詰金一圓
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　株式會社京城日報社
電話番號長六千九番[illegible]

京城日報　朝鮮教育問題（下）

大阪朝日新聞の所論を讀むに、朝鮮教育令の制定を以て、鮮人教育を徒に害する政策なりなどゝは、何人も思ひ寄せざる所なるべきも、或種の私立學校經營者中には、其仕事の邪魔物と爲し、陰に陽に之を非難するものあるは、吾人も亦常に聞知する所なるも、要するに彼等は舊韓國時代に於るが如く、自己の心のまゝに教育を施し能はざるの愚痴を鳴すに過ぎずして、論據とすべき正當なる理由あるものにあらざるなり。之に就いては、最も此間の事情に精通せる前總督府内務部長官宇佐美勝夫氏が日本基督教會の石坂龜治氏の『宣教師の觀たる朝鮮の暗礁』（時事新報所載）と題する一文に對する駁論（七月二十九、三十、三十一日の時事新報所載）に遺憾なく辯駁を加へあるが故に、之を一讀せば、大に悟る所あるべきを信ず。大阪朝日新聞は、此事に就て別に論議を試み居らずと雖も、其の筆鋒きに『更に併合當時百校に過ぎざりし公立普通學校が、四百餘校に增したる一方、二千餘校を數へし私立學校は、整理の結果、今や九百八校（八百九校を正とす）に減じたり、即ち公立學校の數は私立學校を補充するに足らずして、朝鮮人は總督府の政治となりて却りて學校を奪はれたるの觀あり、今次の騷擾が此邊の不平を訴ふも、決して無理ならざるなり』といへり。此廢絶せる私立學校の重なるものは、即ち外國宣教師又は鮮人牧師に依りて經營せられたるものにして、整理の結果、其の廢絶を餘儀なくしたるは、皆相當の事由あるに因るものにして、濫りに鮮人の學校を奪ひたるにあらざるなり。其邊の事情は、朝日新聞記者が唯一の參考資料と爲したりと覺しき『歐米朝鮮事情要覽』にも說明する所なれば、記者にして是等學校經營者の怨言に魅せられざる限りは、此の厭味多き皮肉の言を弄せざるべきなり。

吾人は最早零碎なる事項に就いて言を費すの煩を避くべし。此の論題に就いて朝日新聞の主張を要す所は、實に差別教育を撤廢すべしとするに在り。即ち其の前段に於て『教育は官吏任用と共に差別撤廢要求の對象なり』といひ、又上段引用したる一節の末文といひ、更に後節に於いて『學校の系統及び程度を[illegible]したるは只差別教育愚民教育の苦情を述べしむるのみ』といへる、皆現今の閑約教育が鮮人の不平不滿を買ひ、騷擾勃發の原由と爲す者に似たり。然れども是實に記者が机上の空想に過ぎずして、實際上教育施設に就いては、鮮民中何等苦情を並ぶるものなきのみならず、學校及び教員に對する愛敬の念の深きこと、内地人の想像し得ざる程度に在り。其の證據には、明治四十三年併合の當時、及び今年騷擾の際に於いても、學校と教員とに向つて亂暴を働きたるもの一人之なきのみならず、寧ろ進みて之を保護したる事實あるを見る。今日強て鮮民の教育に對する希望、即ち教育令に不滿を感ずるの點を求むれば、漢學の一科を普通學校教科に加ふること、又高等普通學校に在りては、更に其の程度を高くするを望むもの、如し。吾人も亦朝鮮現在の狀態にては、此要求は決して無理ならざるを知る。若し他日學年を延長するの機會に接せば、當局者は宜しく三思すべきことなりと考ふ。

吾人も朝日新聞記者と共に、朝鮮に於ける差別的教育を撤廢せんことは、最も熱心に希望する所なるも、記者がいへる如く『言語の差違は全然共學を原則とするを得ざる』を如何ともするなきなり。然れども記者が配する『國語の普及と生活の内地人化後、内地人と同樣の國語に熟達せる兒童も少からず、殊に日鮮人相婚の結果は此の如き兒童數を多くせるに拘らず、依然絶對的差別教育を以てせるは鮮人をして反[illegible]しむる外何等の効な[illegible]ふは、全然朝鮮の實情に[illegible]の、杞憂として一笑に[illegible]外なし。何となれば記[illegible]るが如き少數の兒童[illegible]の兒童を教育する小[illegible]校に入學するに何等支障[illegible]みならず、當局も學校も共に歡迎する所にして、現に京城其の他の都會に於いて、是等の學校に入學せる鮮兒は少からず、將來ますく其の數を增加すべき疑ふべからざるを以てなり。要するに普通學校高等普通學校等の鮮人に對する特殊の設備は、暫く時宜に應ずるの措置にして、決して永久的のものにあらず、記者幸ひに意を安んじて可なり。

產米增殖問題と朝鮮（十六）

黃海社々長工學士　松山常次郎（寄）

其結果彼等は自然より富を攝取する能力さへも失つてしまつたのである。朝鮮には就いて尋ぬれば意外な事が多い。李朝の太祖李成桂は咸鏡南道永興に於て成人し同咸興に於て晩年を隱居し同地に其墳墓がある。故に咸興附近の地は頗る李朝に緣故深き地方と云はねばならぬ。先年李王殿下が太祖の墳墓に參詣された時道廳は其道路修繕を命ぜられ夫役を徵發した。然るに人民の云ふ處は我等多年李朝の虐政に苦しみしが併合以來漸く一視同仁の恩惠に浴する事が出來る樣になつた事を喜んで居るにも拘らず李王殿下が墓參されるからとて其道普請をさせらるゝとは如何なる譯かとの事であつた。是に於て種々說得し其總督府よりの命令なる事を言ひ聞かせ、彼等も總督より命令と言ふならやると承知して漸く其工に從事したと云ふ話がある。咸鏡道の人民は慓悍である。李成桂は之を率ゐて天下の事業を成就した。然るに事業成るの後は有爲敢行の徒は懼るべき民である李氏は咸鏡道の人民を以て其子孫の爲め社稷を危ふくするの恐れあるものとなし勉めて之れを任用する事を避け南鮮人士を多く其朝廷に入れた。而し咸興には辣腕の牧民官を置き盛んに苛斂誅求を擅まにせしめたものである。故に此地の人民は李朝に對する怨み骨髓に徹し隱忍今日に及んだのである。咸興平野は豐饒の地なるが故に人民は一般に富んで居る。然るに彼等は官吏の誅求を避けんがために其家屋を陋にし其衣服を粗にして貧民の外見を裝ふの風を助長したと云ふ事である。朝鮮に於て山野に樹木繁茂する時は虎、狼豺の類之れに棲息して人畜を害する懼れがある。故に山林を伐採する事が國土改善の一法であると考へられて居つた。之れが朝鮮の山野に樹木なきに至らしめた一理由である。古昔官吏は其用材を所在人民をして提供せしめた。彼等の普からぬものは報酬を拂はなかつたのである。故に土地佳木珍樹の存在する事は地方人民の禍種なる事が多い。故に彼等は勉めて之を切り盡したのである。之が朝鮮を裸體の國とならしめた第二の理由である。斯の如くにして朝鮮の山野は山林の外衣を剝ぎ取られた。山林は國土荒廢の源である。山林なき國土の地力減退すべきは當然の結果である。朝鮮の耕地は肥料分を受けず河川は洪水の氾濫横溢に委せられてある。加ふるに朝鮮人の地を耕すや肥料を與へず作り取りの一方である。所謂掠奪農法である斯くの如くにして缺乏しからざる地力あり得んや。官吏は人民を誅求し人民は國土を掠奪し此の如きもの數百年朝鮮上下、山川赤裸洗ふが如くなつてしまつたのである。彼奴は威張りで困つた奴だと言ふ言葉はよく聞く事だ。然し然のない奴も困つたものだ。之れを朝鮮人に於て見る。日本人ならば物を運搬して行つた時其賃錢の荷物は少々賃金が低くとも喜んで持つて行くだらう。

平和後の國際金融（五）

日本興業銀行參事　一色信一氏談

米國戰後の形勢を見るに戰前の債務國は一變して債權國となり其の英國に對するものゝみにても實に二百億を算し戰前各國銀行の仕拂資金の倫敦にありしものは續々紐育に移轉するの狀を見る而して米國は更に全國を十二に區分して聯邦準備銀行を設立しその中央銀行を設置し一方戰時金融に貢獻し漸次世界中心市場の要素を作るべく努力し從つて金融上信用の**漸次確實と**なり貨幣制度の如きも確立し爲替手形割引及び引受證券等も大いに發達し戰前の英國の狀態を漸く米國に依りて見るに至つた而も米國の對外投資力は實に盛んなもので貿易商國の設立後之を中心として對外投資を計り今や世界中心市場たる要素は漸次具備し來りつゝあるが今米國に於る金貨の增加率を見るに千九百十四年には三十二億より無かつたものが今日は實に六十數億と云ふ十割の激增高を示してゐる猶銀も戰前には英國の供給を仰ぎしもの今や**英國に供給**するに至り四十六億の正貨は一躍して六十八億を算するに至つた又戰前には極めて微弱なりし船舶も戰時中の努力に依り大速力の進展をなし猶計畫されてゐるものは頗る大きい併し乍ら是等の大船舶を以て戰後英國に對し果して匹敵し得るや否やは問題ではあるが其意氣込は既に英國を凌駕してゐる英國今日の衰退は爭はれぬ事實であるが果して戰前の地位を全然失墜するや否や是等も絕對に斷定し得ざる處である而も現下の英國が如何に衰退してゐるとはいへ猶大體戰前の情勢は維持してゐる即ち戰時中頭角を現はした**紐育の爲め**戰前には倫敦以外には無かりし世界的中心市場の或る要素は確かに奪取せられたとはいへ是れを以て紐育が倫敦を凌駕せりとも言ふを得ず又紐育が倫敦よりも劣れりとも言ふを得ない即ち今や此の兩都は相互に相對立せるものにして今後に於ける兩者の勝敗は即ち只其の努力の奈何に因るのみである最後に於て我が日本の狀態を見るに既に今日に於ては戰前に於ける如く唯に倫敦一點張りにては決して發展を期する事は出來ない紐育を度外視する事なくして能く今後の推移如何に注目する事が肝要である而して我が國の戰前戰後の**轉變を見る**に債務國たりしものが債權國となり對露佛英の二十億の債權を有するに至つた是等は實に貿易の賜として見るべきもので其貿易は戰前に比し三倍に達し正貨も五十億內外に增加してゐる併し乍ら此の長足の進步ともいふべき貿易は交戰諸國と貿易中輟ち得たるに過ぎぬものであつて是れを以て決して滿足する事は出來ない殊に米國は主として歐洲諸國が恢復に際して要すべき資力と物資との供給を引受けんとし南米貿易に注目し第三に東洋に對して資力を注入せんとしてゐる是れ米國の三大對外放資方針とも見るべきものであるが我日本帝國は如何に對外投資を計るとも如何せん其の資力**甚だ薄弱で**あるが而し大資力を有せる米國に對して飽迄隨闘を續くべき唯一の力が我國には存してゐる其力が果して如何なるものなりやといへば即ち全國民の協力一致といふことに他ならぬ國民は須らく百折不屈此大資力國たる米國に對應しなければならぬ（完）（東京支局）

川柳談語

劍花坊

古川柳が前句附と云つた時代の作法の一班を云ふて見ると『張りにけり〳〵』といふ十四字の後句がある、其へ附けて前句

生醉のせまさうに出る仁王門

傾城の文に女のよりたかり

生醉を二人して引張るやうにして仁王門から出て來るといふのであり、また女郎の文はさんざ書いてあるかと女ども珍らしがつて引張り合ふ、といふこころが利かせてある、今日の歌や俳句や川柳の課題とは、すこしく性質がちがふては居るが、題は題に相違無い

內證にしてこふるへる顏ニツ

この男女の關係がパツと世間に知れては大變だ、と見付けた人の袖を引張る

賴政は內裏で貰れた男なり

あちからも、こちからも袖を引張られる

あの下女に横ツ腹は度々の事

田舍出の下女だと侮つて袖を引張つたので、いきなり横面をウンといふ程ひどくくらはされた

謹啓　時下酷暑難凌御座候處御高堂愈御淸穆之段慶賀ノ至ニ奉存候却說弊商會儀從來格別ノ御引立ヲ蒙リ御蔭ヲ以テ益々隆盛ニ趣キ候段偏ニ各位御同情ノ賜ト深ク奉感謝候然シテ今回時代ノ趨勢ト斯界ノ要求トニ鑑ミ更ニ事業ノ擴張ト發展トヲ期シ度ク茲ニ弊商會ノ業務一切ヲ擧ゲテ朝鮮材木株式會社ニ引繼ギ將來一層ノ勉强ト奮勵トヲ以テ高顧ノ御芳意ニ酬ヒ度候何卒不相變弊商會同樣ノ御愛顧ヲ垂レ賜ハン事ヲ祈上候。匆々

大正八年八月

荒木商會
荒木要次郎

今般新ニ本會社ヲ創立シ前記荒木商會ノ事業一切ヲ繼承シ益々業務ノ擴張ヲ圖リ充分ノ設備ト改善トヲ施シ確實誠意ヲ旨トシテ普ク各位ノ御高需ニ應ジ可申候間何卒倍舊ノ御引立ノ程奉懇願候先ハ不取敢御挨拶迄如斯御座候　拜具

大正八年八月

新義州
朝鮮材木株式會社
專務取締役　荒木要次郎
常務取締役　中込精一
取締役　今西利八
取締役　德田乙松
取締役　野口彥松
監査役　岩本正一
監査役　唐津鶴吉

資本金　五拾萬圓
拂込濟資本金　貳拾五萬圓

□營業課目□
木材賣買
製材及製函
木材委托賣買
鐵道枕木材
木材伐採及流筏
殖林經營
海陸輸送
木材保管

新義州府本町
朝鮮材木株式會社
電話二四五番
振替京城四七三〇番
電信略號（チサ）又ハ（チ）

運送部（電話二一四五番）
製材工場　新義州鴨川町（電話六二一番）
支店　京城黃金町三丁目（電話二四六四番）
出張所　義州郡北下洞江岸

實業之日本　八月十五日號
勞働者自覺號

權利の自覺と責任の自覺……（社說）
勞働者の道德……早大教授 杉森孝次郎
勞働者の人格的自覺……岡喜七郎
資本家も先づ自覺せよ……宮島清次郎
勞働組合に就て……法學博士 浮田和民
溫情主義は恩惠にあらず……增田義一
同盟罷工を起さぬ方法……武藤山治
ストライキ解決方法……友愛會主事 松岡駒吉
賃銀値上と事業家の態度……[illegible]
休日手當給與と時間短縮の可否……[illegible]
增給要求前に勞働者の打算を要す……[illegible]
支那に於ける特權無用論……日本銀行總裁 井上準之助
俸給生活者の叫び
大阪市の生活難救濟
讀者諸君に於る眼の疲勞豫防法
[illegible]
一冊貳拾錢[illegible]　東京京橋　實業之日本社[illegible]

前京城覆審法院判事
辯護士
法學士　切山篤太郎
京城黃金町一丁目一五九番地（三井物產株式會社向側）
電話長一八六九番

本誌の遲刊に就て謹告
本誌印行進捗中突如同盟罷工の襲あり爲に數日間執務中斷の止むなきに至り終に斯の遲刊を見る遺憾に堪えず諸賢の寬恕を乞ふ

解放
倍大八月號

特別記事　世界思潮の動亂と其歸結
世界思潮の歸趨……文學博士 桑木嚴翼
精神的に見たる世界の思潮……富永德磨
思想の解放……文學博士 三宅雪嶺
世界勞働運動の方向……麻生久
世界思潮の方向……山川菊榮
猜疑的態度より臨體的態度に……法學博士 吉野作造

日支國民親善確立の曙光（兩國青年の握手とその新運動）……法學博士 吉野作造
勞働者崇拜論……賀川豐彥
教育上のデモクラシイ……早大教授 杉森南山
時評（時代の警鐘）（學生の立場）　自由論壇（本欄投稿歡迎）
海外時潮　婦人欄　山川菊榮
勞働者運動の指導倫理……法學士 佐野學
露國革命の先驅者としての猶太人……法學士 岡上守道
經濟生活の解放……法學博士 森本[illegible]

創作
ある女の犯罪（長篇）……江口渙
霰の音……加能作次郎
勞働者の子……豐島與志雄
展望（長篇）……[illegible]幸次郎
田園生活者の告白（寫眞）……加藤一夫

夏の都會と田園……[illegible]

凉味萬斛
南歐の風景……文學博士 濱田青陵
露國水鄕印象記……大泉黑石
西班牙の畫的風光……森田恒友
瑞西アルプス……丸山晩霞
佛蘭西の夏……足立源一郎
米國の山水鄕……野口米次郎
印度回想記（英文）……[illegible]
朝鮮金剛山……[illegible]
西安の風物……文學博士 松本文三郎
南獨逸の湖畔……生田[illegible]
遊佛日記より……與謝野晶子
英國の風景……理學博士 武田久吉

特別記事　世界の山水鄕

[illegible]　大鐙閣

懸賞付卷煙草名稱及意匠募集

一、募題　兩切卷煙草十本入（社製品グローブ形）一種　右名稱及意匠圖案
一、締切日　大正八年九月三十日受付迄
一、答題送り先　朝鮮煙草株式會社研究部宛
一、撰擇方法　京城日報及朝鮮新聞社員立會ノ上嚴密ナル撰擇ヲ行ヒ新聞紙上ヲ以テ發表ス
一、當撰者ニハ左ノ懸賞金品ヲ提供ス
　一等　金五拾圓也
　二等　金拾五圓也
　三等　金拾圓也
　四等　金五圓也
　五等以下十等迄　花扇又は「グローブ」壹ボール宛

京城義州通一丁目
朝鮮煙草株式會社

ウ氏對上院通牒
兩案に對する最後の斷定を求む

「華盛頓特電十九日發」ウイルソン氏は終に米國上院外交委員會に對して左の如き最後通牒を發せり（東京電報）

諸君は講和條約並に國際聯盟を現在の儘にて承認するか然らずんば全然之を拒絕せざる可からず

愛蘭問題對策

英國政府は未だ愛蘭に對する積極的方針を發表するに至らず單に表面を糊塗し寬かんとするもの如く目下愛蘭問題協議會の報告を待ちつゝありと辯明し居れり（倫敦電報）

大統領二州訪問

佛國大統領ポアンカレー氏は二十日よりアルサスローレン方面の訪問を開始したり第一日目は自動車の故障によりアルサスローレン長官は輕傷を負ひ上部アルサス一議員は重傷を負ひたりポアンカレー氏は千九百十五年八月十五日獨逸のため燒かれたるドヌルハウス及びバールスブルグを訪問せり（巴里電報）

葡國大統領選擧

外務省著＝アントニオ、ジョーセ、アルメイダ氏は今回葡萄牙の新大統領に選擧されたるが十月就職す可し（東京特電）

オムスク閣員異動

オムスク政府は十九日附官報にて左の件發表したり（北京電報）

（一）都合上レベドフ陸相を革職し東部戰線司令官參謀長臨時代理ジテクス中將をして陸相臨時代理を兼攝せしむる件（二）內閣書記官エホテリペルヴ氏は願により其職を免じ其後任として經濟調査會長テウギニス氏任命の件商工大臣代理チハイロフ氏は免官となり後任にはドホヤリ氏藏相代理に商工次官オコロフ氏を臨時商工大臣に任命の件

支那新聞局辯明

巴里支那新聞局は支那政府及び同國民の名を以て新聞紙に抗議書を送り近時支那が過激派思想に贊同する傾向ありとの報道の理由なきことを辯駁する所ありたり猶新聞局は說明して支那は依然講和條約に調印せざるも是山東問題に關し故障の存するがためなるに外ならず聯合諸國に對しては飽までも協調を重んずべき眞意なりと（巴里電報）

獨逸の對シレシア陰謀

最高會議はシレシヤに於ける獨逸の陰謀を絕滅せん事を議したり獨逸は同地方工業勞働者を煽動し既に七郡以上の同盟罷業をなさしめたるを以て最高會議は多分同地方を占領する事を決議すべし（巴里電報）

西南諸省斡旋依賴

岑氏北方總代表に就ては未だ西南各省より贊成し來らざる爲め政府は兩三日前李純氏に對し西南各省の斡旋を求め廿日劉恩世氏に對し王總代表贊成の電報を寄せ來らん事を求めたり（北京電報）

兩公使外交部訪問

二十日午後四時英國公使は外交部を訪ひ河南問題に就き協議せるが同六時半米國公使も亦來訪し國際聯盟に就き談話し最後に予聯國の後何人が後任者たるも英國の對支方針に決して變更する事無しと述べたり（北京電報）

支那不調印訓電
北京政府の眞意如何

外電によれば支那政府は十七日再び在巴里委員に對し獨墺條約に調印すべからずとの訓電を發し該訓電中に山東處分及び青島問題に關し日本が第三國の調停を拒絕したるも日本政府と直接交涉開始を承諾せずとあり右に就きその筋には未だ何等の情報なく國際的問題とはならざるべしと稱し居れるも電報の出所より考ふるも無稽の風說に非ざるべしと觀測せらる而して北京政府の眞意は目下南北妥協進行中にして可成的外交方面の事故にて政客の論議非難するを避けんとしつゝあるものゝ如く從つて統一政府の成立迄は一切を放任せんとし巴里委員より調印に關し北京政府の意嚮を問合せ來れるより取敢ず前記の如き訓電を發したるものと思はる兎に角日支間にて決定し得べき問題を國際的問題となすことは好ましからざることにして最近支那人間に日支交涉事件を來るべき國際聯盟會議に於て決定せんとの意見を有する者あり外人も是れを慫慂し居れる模樣なれば日支關係の將來に於て如何なる事件の起るやも計り難しと識者間には頗る憂慮せられ居れり（東京電報）

擴國々軍組織

[illegible]と多數者の所見は略次の二點[illegible]軍隊より將校一萬二千[illegible]を得るは決して困難なら[illegible]利あると共和に對する見地より將校下士の反對を受て未だ何[illegible]新軍隊に殘留する能はざるもの[illegible]全く反對の現象なりと[illegible]不平を訴ふ[illegible]

英領事密使召還

「廿日張家口發」西藏問題に就き英國領事は支那政府が西藏の自治を容認せりと宣言したるが爲め英に意志疏通の爲め西藏に派遣せる密使は最早西藏に居るの必要無き爲め歸還を命じたりと（北京電報）

支那紙毒筆を揮ふ
新借款に對する日本の態度に就き

新借款團に對する日本の態度近時に至り經過漸く明瞭となるや北京言論界は頗る敎厲を初め且つ新借款團の內容に就いては何等の研究をもなさず支那自身に取りて最も重大なる利害關係を有する本問題に對し風馬牛も啻ならざる態度を執りゐたるに拘らず今更のごとく滿蒙除外の一事を捉へ日本が滿蒙を封鎖して一歩も他國に開放せざるが如く曲解して日本軍閥の勝利は日本が將來依然として侵略的野心を拋棄せざる證據なりと毒筆を揮ひ居れり又北京リーダー紙は歐洲における普魯西主義打破されたるにアジアに於ける普魯西主義は勝利を得たるが世界は日本に對して獨り此の如き勝利を許すかと猛烈に咆哮し居れり（北京電報）

琿春排日貨不熄

琿春に於ける排日貨運動開始當時首謀商等は秘密を守る事嚴重ならざりしが近時此の行動は隱密裡に行はるゝに至れり又琿春巡警局にては彼等排日貨運動者に對し琿春にて排日貨等の運動を爲すとも何等支那として利益を齎すものに非ざるを以て右の如き運動は中止を可とすとの意味の訓令を傳へたりと云ふ裏面に於て彼等運動者を盛んに煽動使嗾するもの、如し尙昨今市內にて新に借家を求むる內鮮人ある場合には空家あるにも拘らず絕對に峻拒しつゝありと（琿春電報）

支那臨時議會開會

廿一日開會されたる衆議院にては民國八年度國庫總豫算案に就き總理の出席說明を要求したるも總理出席せざる爲め討議を延期し更に緊急動議に依り日程を變更し九月十日より臨時議會を開會するの案を可決せり（北京電報）

支那內債發行決定

廿一日の國務會議は徐樹錚氏の請求に係る內國公債五千萬元募集の件を議決せり（北京電報）

西藏問題の交涉を急ぐ

近く歸國す可き駐支英國公使ジョルダン氏は北京政府に對し西藏問題の交涉を急ぎつゝあり（北京電報）

王代表派遣反對

廣東國會は十[illegible]北方代表派遣に對し反對の旨北京政府に通電すべく決定（[illegible]電報）

寬城子事件交涉
我政府より小幡公使に訓電を發す　北京外交部に對し交涉

寬城子事件に關し日支間交涉開始の爲め一兩日前我政府は在北京小幡公使に訓電を發したれば公使より北京外交部に對し交涉を爲し近に長春に於て實際問題に就き日支官憲の交涉開始さる可し（東京特電）

群山米穀取引所創立委員會

群山米穀取引所創立委員會は既報の如く二十一日[illegible]開催せるが遲議の結果兩三日中に愈々創立請願手續を爲す事となりたり（群山特電）

釜山取引所計畫經過懇談

釜山米穀取引所問題に關し今回新に其設立許可を釜山府に申請したる發起人荻野彌左衛門外十數氏は二十二日夜芳仙閣に釜山各新聞記者等を招待し該事業計畫の內容經過等を述べ種々懇談する所ありたり（釜山特電）

園侯歡迎謝絕

西園寺侯は二十三日神戶著歸朝の筈なるが侯は歡迎を謝絕する旨無線電信を以て要請せり（神戶電報）

總督總監著期
來月初頭か

既報の如く齋藤新總督、水野新政務總監は野口總務局長兩秘書官等を從へ來る二十八日東京出發途中伊勢大廟桃山御陵參拜の上下關に一泊の上來月初頭着任の事となるべしと

警察署增設

八月二十日朝鮮總督府令第百三十六號を以て大正三年同總督府令第百二十七號中改正せられたるが右は京畿道高陽警察署外百七十四箇所に警察署增設され孰れも從來の憲兵分隊若くは同分遣所內に併置さるべく同職員に依りて警察事務を取扱ふものなり

第二部長服制

總督府官制改正と共に新に各道に第三部を置き警察行政事務を取扱ふ事となりたるが元來第三部長は道事務官なるも服制は今回公布せられたる總督府警察官服制の改正により遂に警視の制服を着用する事となれり

電燈値上期
十月より乎

京城電氣會社より當局に申請し居れる電燈料金の引上は會社に於て九月一日より實行したき意嚮を有し木本專務、山口取締役等屢次遞信局に出願交涉陳情するも當局としては多少の引上は容認するらしきも然も右引上げに對しては多少議論の餘地を存するものあり勞その決定を見るは總督政務總監來城後なるべく從つて實施は來る十月一日よりならんと觀測さる

豫備役編入

今回勅令を以て朝鮮憲兵隊附將校憲兵道警察官吏に任用せらるゝ者は現役憲兵下士又は上等兵にして任用者は軍人服役令の規定に依らず豫備役に編入せらるゝ事となれり

商議聯合會期

第二回全鮮商業會議所聯合會及び鮮滿商業會議所聯合會は京城商業會議所主催の下に於て九月開催の筈なりしも元山商業會議所にては十月一日から役員の改選あるべきに付き會期を十月に延期し十月七日八日の兩日は書記長會議を以て評議し九日十日十一日は全鮮聯合會十三日十四日十五日の三日間は鮮滿聯合會を夫々開催する豫定にて目下各商業會議所に對して意を求めつゝあり其中平壤、群山、釜山、大邱、元山の各商業會議所は既に快諾せる旨回答あり其他未だ回答の向きも異論なかるべしと

京城客月商況

京城商業會議所の調査に依る七月中の京城商況を聞くに米穀は先月中旬以來氣配稍强硬と成りしが

思惑熱旺盛

となりたるに加へて內地よりの買付注文輻輳したるを以て相場は愈々昂騰して玄米（中物）月初め三十七圓位のもの月末に至りては四十一圓乃至四十二圓を唱へ大豆は買付注文無きにあらざるも手持筋は既に高値買付品なれば商談纏らず相場は上物最高十八圓十錢最低十六圓六十錢總じて上騰し牛皮は當地商人の手持品少き爲め往々需要者側の買注文あれど供給極めて潮く價格は幾分騰貴したる模樣にて大皮及小皮各八十六圓五十錢中皮七十六圓五十錢の平均相場を示せり次に輸移入品の大宗たる綿絲布類は米棉安の關係上內地市場に於ける相場下落の影響を受け當地商人は一般に買入手控への狀態を演じたるも地方

依然旺盛

なるに依り相場は和金巾（三A）月初四百四十五圓月末五百圓綿絲（十手）月初二百三十五圓月末二百五十圓の何れも反動高を示し粟は米高さ滿洲粟の特別輸送停止との爲め海城物十四圓遼陽物十三圓五十錢位なりしが月末に於ては海城物十五圓七十錢遼陽十五圓二十錢に上れり此れに反し砂糖は思惑筋の投物頻出したる爲め四温四十七圓より三十六圓落に三温四十六圓二十錢より三十五圓二十錢落に各十一圓宛暴落し麥粉は（鐵）六圓六十錢より四圓九十錢に低落したれども其他の諸商品は價格漸次昇騰するにも拘らず

取引頻繁

に行はれたれば一般商況は殆ど例年の夏枯閑散季節を見る能はざるの活況を呈しつゝ越月せり尙ほ京城稅關出張所の取扱ひに係る本月中の貿易額を見るに輸移出品價四十萬四千餘圓輸移入品價四百三十九萬四千餘圓合計四百七十九萬八千餘圓にて前月に比し輸移出に於て四萬三千餘圓輸移入に於て四十四萬九千餘圓を各增加し更に之を前年同期に比較する時は輸移出に於て十六萬四千餘圓輸移入に於て二百二十三萬千餘圓を何れも增進せり

勞銀低下傾向

京畿道以西の旱魃に依り水田畑作共に全滅に歸せし地方は農民の出稼ぎ少からざる數に上り近來平壤鎭南浦の兩地は勞働者の供給數激增し賃金區々なれど二割乃至四割方低下仁川に於ても相當勞力の餘剩あり賃金何れかと云へば下向步調にあり唯京城は目下の所鮮人日傭賃金には異動なしとの事なれど勞力の供給は缺乏し居らずと

警務局移轉

新設警務局は目下元警務總監部內に於て執務中なるが同局の移轉先なる鐵道部の元土地調査局跡に移轉を俟ち二十三日より移轉に着手すべしと

岡本警視轉任

元警務總監部高等警察係主任たりし警視岡本惠三郎氏は今回京畿道警視に任ぜられ第三部高等警察課長を命ぜられたり

期米賣買新記錄

仁川期米は八月に入り相場の硬調を見る日少からざるが二十二日は隆一日三十萬石以上の大商內を見るため賣買大商齊を告げ雨により相場暴落して波瀾激甚なりし結果其の賣買高は實に四十二萬石の多きに達し手數料收入概算八千圓にして同取引所の出來高としては新記錄を作れり

セメント煉瓦

特許セメント瓦はその後內鮮人の需要少からず會社はその註文に逐はれ居れるが最近同社にて考案製造したるセメント煉瓦は建築界繁忙にして煉瓦供給缺乏の折柄斷安堅牢にして好望と目され居れるが同社にては目下製品の試驗を中央試驗所に求め居れる由

○新荷物運帶取扱驛

九州線筑前中山停車場に於て貨物の取扱をなす爲め鐵道院より京管局に通知ありたるを以て朝鮮線との貨物連帶取扱驛中に加へられたり

時事研究懇話會

併合以來朝鮮問題の論議せらるゝもの多く特に今回官制改正の事あり此際有志の時事に關する研究意見の交換は最も緊要なる事なりとし今回京城民間有志等發起となり二十三日午後六時より京城ホテルに於て懇話會を開催すべしと

關屋知事赴任期

新任靜岡縣知事關屋貞三郎氏は來る二十五日頃出發赴任すべしと

遠藤氏送別會

新任東京府事務長遠藤柳作氏は近く出發赴任の事となりたるを以て總督府出入記者團中心となり來る二十六日午後七時より旭町千歲にて同氏を招待し祖道の宴を張るべしと因に氏は着任後戰時生產調査事務を擔當する由

人事消息

▲菅田勇氏（京城殖產出張所長）廿二日入城浦尾へ
▲林猶助氏（群山不二商業株式會社取締役）廿二日入城浦尾へ
▲岡東榮三氏（三井物產京城出張所長）廿二日入城天眞樓へ
▲高島莊平氏（平壤機械商）廿二日入城天眞樓へ
▲樋口虎三氏（群山電氣會社々長）廿二日入城不知火へ
▲田崎長崎高商敎授　廿二日退城
▲芦田卓藏氏（商銀群山支店長）今回一身上の都合にて辭職
▲三島太郎氏（殖銀頭取）中島調査役帶同廿二日夜內地へ

鳥瞰錄

流石の米國も大分過激派には手を燒いて居るらしい過激派の在米露國大使マルテンを捕縛して却つて蝮蛇になりかゝつて狼狽して居る▲最初米國は西伯利でやつた樣に大に過激派に同情を表して同派政府を代表するマルテンを特に駐米大使として迎へ然るべき待遇を與へたものだ▲而して米國は之れに依つて何事かを計畫する積りだつたらしい▲處がマルテン先生もとより其樣な事は何うでも好い米國の眞意などは頓著とも思はず▲忽ちアイ、ダブル、エー、ダブルユーの連中と相結び盛んに過激主義を北米大陸に宣傳し大使館を以て米國過激派の本部に當てると云ふ騷ぎ▲主義共鳴者が全米に擡頭し出して大膽な爆彈騷ぎなど持ち上がつた▲其處で之は堪まらぬと米政府も縮み上がつて早速大使館へ踏み込んでマルテンを捕縛した▲處が先生眞赤になつて怒り出し▲米國は列國を出し拔いて獨り好い子になり甘い汁を吸はうとして何かと我々を利用して居ながら今となつて掌を返した樣に勝手に大使を縛るとは何事ぞ▲よしッ過激派政府は乾度米國に對して報復する所があらねばならぬと怒鳴つたので▲之は不可ない何をするか知れぬと政府は再び狼狽し▲目下過激派の報復手段に對して頻りに妥協を申込んで居るさ[illegible]

鮮滿片々

馬山勤務應召

大正八年度に於ける馬山重砲兵大隊に勤務すべき演習應召者は將校三名准士官一名下士卒五十九名計六十三名で來る八月二十八日除隊の順序である（馬山）

鎭海組合會

鎭海學校組合にては來る二十五日午後一時より大正七年度決算報告の爲め組合會を召集し其の承認を求める筈である（鎭海）

軍司令官檢閱

朝鮮軍司令官宇都宮中將は八月三十日より九月四日に亘り釜山鎭海大邱各隊軍部隊の檢閱をなす由其筋に通牒があつた（馬山）

全北の秋蠶

全北各郡に於ける秋蠶狀況を聞くに發生以來氣候適順で成育頗る良好である本年は例年に比し氣溫一般に高かつた爲め成長速く目下四齡中である今月末で上簇するであらう（全州）

新横航と元山

過般來計畫中である伏木浦潮間を連絡する日本海新横斷航路は元山に寄港しない模樣となつたので元山商業會議所では此間の事情を明かにし相當の善後策を講ず可く目下計畫調査中であると云ふ（元山）

新米出廻る

去る二十日全南靈巖より新米一俵木浦市場に出廻り十七圓の御祝儀相場で木村商店に取引出來たが品質は當て見ざる良品で賣品である昨年の新米出廻りは二十五日で當時其の早きに驚いたが今年は更に五日早いとは餘程氣候が適順であつたものと見れる（木浦）

公會堂委員會

二十二日午後一時から平壤商業會議所に於て公會堂委員會を開き更に二時より實施委員會を開き建築工事に關する諸般の協議を遂げた（平壤）

運送賃の値上

鎭南浦運送業組合では此程商業會議所樓上に協議會を開催し運賃値上等を附議した結果平均三割六分方の値上を爲すことに決定した（鎭南）

平銀設立申請

資本金二百七十萬圓を以て新に設立計畫中の株式會社平壤銀行は創立委員長大橋[illegible]藏氏外五十餘名の平南內鮮有志の株主連署にて設立許可申請書を二十日平壤府廳に提出した（平壤）

敦賀視察團

敦賀商業會議所主催の北鮮視察團三十餘名は二十四日入港の平安丸で來元すべきに付き元山にては當日入港と同時に小蒸汽で港內を案內し築港狀況を視察せしめ上陸後各所の視察を爲さしめ午後四時半より丸芳にて歡迎會を開き一行は同夜八時乘船北航の豫定である（元山）

咸興鯖漁成績

咸鏡北道咸興郡內西湖及び內湖に於ける本期鯖漁高は二萬二千餘圓を示して居る初漁期は風雨に浪少かつた爲め豐漁であつたが其後は西南風の爲め風波甚だしく不漁となつた（咸南）

埠頭上旬貨物

八月上旬大連埠頭に於ける倉庫貨物は入庫高四萬九千餘噸出庫高三十六萬四千餘噸現在高三十[illegible]萬七千餘噸で其の外市內搬入一萬三千餘噸搬出一萬六千餘噸である（大連）

埠頭荷役減退

大連埠頭に於ける荷役力は炎熱と虎疫流行のため最近著しく減退した然るに積取船は夏枯期にも拘らず續々來港し沖待船は每日七八隻の多數に達して居る苦力は平均三千名出勤し其の人員に於て從來に比し甚だしき減少はないが作業高は幾分減少したこれは夜荷役廢止も其一因である今秋の特產物の出廻り期になれば奧地貨物到着の爲め一層荷役の減退を來すであらう（大連）

下關期米特電

[illegible]

大阪株式（至急電報）

鐘紡	三六七、五〇	二五〇安
同新	三四五、一〇	九〇安
東新	一九八、七〇	一〇安

商業登記公告

株式會社朝鮮殖產銀行登記事項中大正八年八月拾五日全羅南道麗水郡麗水面西町參五九番地ノ一ニ支店ヲ設置シ同年同月同日同町千貳百六拾五番地ニ移轉 右大正八年八月貳拾日登記 京城地方法院水原支廳

鷄卵配達開始

京城本町一丁目五〇 守山鷄飼育所 電話五四二番

商業登記

株式會社朝鮮殖產銀行（變更）大正八年八月拾五日全羅南道麗水郡麗水面西町參五九番地ノ支店ヲ左ノ所ニ移轉ス 全羅南道麗水郡麗水面西町千貳百六拾五番地 右大正八年八月拾九日登記 海州地方法院沙里院出張所

京日案內

普通 一回前金二十錢　番外 一回前金壹圓二十錢

◎古本熱心高價買入 御報次第參上 本町二丁目 群書堂

院主旅行中の處本日歸院致候 是非御試驗を乞ふ 京城明治町貳ノ參 京城犬猫病院 電話三二五番

女中入用

年齡十七歳以上 家族三人 希望の方は電話三一四番 池田へ

看護婦及見習採用

經歷の如何に依り月給圓乃至廿五圓迄の手當を支給す 明治町二丁目 京城久枝肛門病院

社員高給招聘

外務員 希望者履歷書携帶來談地方送れ 京城貸金町武丁目 日清生命 朝鮮支社

女中入用

年齡廿歳前後身許確實なる者至急來談あれ 京城水標町四二 吉武

氷

飲料用御檢定濟◎所在 京義線黃州驛前 黃州倉庫渡し約束 三百貫以上御希望の方は御來談被下度候 藤原事務所

店員入用

十八歳以上廿四歳迄 保證人を要す 長谷川町 電話四九六 砂糖麥粉商 中島京城支店

ほねつぎ　うちみくじき

一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

年金恩給

低利五ケ年分迄即時御立替 利息前引無し 京城永樂町貳丁目 西本願寺下 江州屋本店

丁稚入用

保證人二名を要す 京城黃金町貳丁目 時計卸商 喜多金光堂 電話一〇一五番

玩具卸商

內鮮人向出張取引 京城本町二丁目 ウラシマヤ 振替京城六六八番

競馬騎手入用

年齡十七以上 希望者は履歷書携帶來談を乞ふ 京城東小門外 電話一參三番 平山牧場

店員募集

年齡廿二歳以上二十八歳迄中學又は商業學校卒業程度 市內に保證人を要す本人來談 仁川 [illegible]商會

外交招聘

內鮮人 優良なる外交員を要す 希望者は履歷書携帶來談 京城[illegible]町一ノ八 電話五五七番 帝國生命保險株式會社

骨つぎ專門

家傳 京城本町四ノ參二 小柳治療所

店員入用

希望者直接面談 京城本町二ノ六四 電一〇八五 友田米店

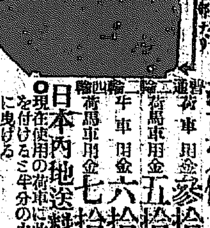
▲値上廣告

諸材料暴騰致候爲め止むを得ず廿日より三割方値上實行仕り候也

大正八年八月廿日

京城印刻業組合

全部鐵製 口構造堅牢



勞力半減 效力大倍 好評嘖々

無限軌道

改正定價
貨車用 金參拾八圓
荷馬車用 金五拾九圓
二輪車用 金六拾九圓
四輪荷馬車用 金七拾九圓
日本內地送料不要

◎現在使用の荷車に此無限軌道を付けると半分の力で車が動く
◎惡道泥砂道バラス道等には二倍以上の偉大なる效力を有す
◎無限軌道は現在の荷車に取付出來道具要らず

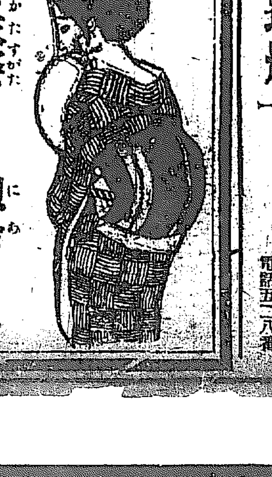
▲全國各縣下特約店募集 郵券添付申越次第型錄規定贈呈

無限軌道 製作發賣元 大阪市西區新町南通五丁目 合資會社 持田商會無限軌道部 電話新町長一七八九番 振替四五三六 支店 [illegible]出張所

工場增設、製作迅速

貸遊船

漢江龍山電車終點 共樂社 電話五二八番



浴衣姿によく似合ふ

純白美乳

タッタ一滴でこの白さ―

妾の好きな美乳ですつかり膚の整つた其の上へ新たに評判の純白美乳の一滴は何といふ白さ美しさを振くも水際立たせて發揮するのでせう、云はずと知れた純白美乳は美乳の成分白粉を配合した何んな色の黑い方をもすぐ美人にする不思議の力があるから殊に湯上りの純白美乳の膚心地は申分ありません

家庭では朝夕…美乳！
外出の時…一滴…純白美乳

簿記用 萬年筆用 土瓶入 專用

プラトンインキ
ナチュラルインキ

●色澤鮮明 ●永世不變色

◎市內は御電話次第御屆け致候

朝鮮總代理店 京城日報社代理部 電長六〇〇九番 振替京城二〇〇番

…以て新軍隊を組織し現在民軍の大部分を多數の幹部を以て組織する軍隊を組織せんこの意嚮なり加ふるこ、なる可く之が組織…分子を含ましめざるこ、し…

警察權を握つたは愉快

兩權の統一は僕の素志 こ大得意の松永道知事

道長官から道知事こ改まり新に警察權を掌握した京畿道知事松永武吉氏を訪ふこ今し第三部員に訓示を與へて知事室に落ち著いた許り隙間に勲二等の瑞寶章を輝かし作ら語る『今日は舊京畿道警務部長の告別式があり終つて自分から第三部員に對して挨拶をした所です併合十年、時世の進運に伴なひ從來の憲兵警察制度が愈々普通の警察制度に改まつたが何しろ今は過渡期殊に下級憲兵の職にあるものをして警察事務を取扱はしめるので種々其間に支障もあり事故も起り易いので一層注意して執務すべき旨を訓諭した次第です由來警察官こ云へば三尺の童子も恐れるこいつた傾きがあつたが之は大なる誤りで警察官の職務は常に保安に始まり檢擧に終るべきもので即ち警察官は人民の保護者である決して檢擧處罰等にのみ從事すべきものでなく保安こ云ふ事が第一なのであるが自分は從來の警察制度に於て行政官こ警察官こ獨立してゐるのは種々の弊害を伴ない易い恩威並び行ふこ云ふ事は到底不可能だこ思つて居たが今度の新官制で之が改善されたのは自分の素志である地方長官が警察權を掌握する事を得たのは頗る愉快である仍で自分も十三年前の知事時代に返り大いに新制度を活用する考へである何しろ京畿道は京城を包含して居るので從來は種々難渋にして居る感がないでもなかつたが之れからは自分の主張である警察は保安に始まり檢擧に終るこ云ふ意味に於て充分努力する考へである』

馬賊十萬留を奪ふ

露支國境に跋扈＝頭目は飛艇以下五名＝漸次南下せん

露支國境附近に跋扈跳梁しつゝある馬賊の集團は約十數團あり何れも氣脈を通じ居れるが頭目には飛艇、劉林修、文德、吳德山等あり中にも吉林より投ぜる巡防隊將校も有り銃式武器も砂からず支那官憲は是等の襲擊に對する策無きを以て戰々兢々たるが最近に至りては漸次國境に迫れる形勢有り鳥奥地に在りては駱駝脖子（蛤蟆塘北方約四里）附近の

森林地帶を 橫行する大集團あり彼等は支那官憲の擊攘の僱攏調にして官兵の意氣銷沈せるに乘じ近時著しく活動を開始し漸次南下の氣勢を示しつゝある爲め蛤蟆塘附近の居住民は他に避難するもの多く從つて同地南方五里の百草溝附近の人心は一日も安き心地無く旱天の雲霓を望むが如く討伐隊の來著を待ち焦がれ居れり該馬賊の後方連絡は寧古塔西南方約九里の

東京城方面 にある一團こは勿論氣脈を通じ居れるの如く過般寧古塔方面を衝きしり又其の勢力は五百こも云ひ三百名こ稱するも事實疑はしき節秒からず又ボクラニーチナヤ方面に在りては馬賊頭目飛艇以下五頭目の合同團體は過般同地を襲擊したるもニコリスクより駐屯の支那陸軍正規兵の到著こ共に南方寒葱河より双橋樹方面に退却して寒葱河東寧第五區警察署並に双橋樹東寧第四區警察署を占領しボクラニーチナヤ三岔口間の

通路を杜絶 し寒葱河警察署に潛伏中なりし東寧縣警察官吕長春を引出し路傍に於て虐殺したる事實あり該馬賊がボクラニーチナヤ商務總會に要求したる金額は十三萬留なりしが商務總會にては十萬留丈けを提供したる爲め賊側は同地商人二名を人質こして拉去し三萬留こ引換ふべく目下要求しつゝあり其の行動の殘忍なる露支人ごも宛ら鬼の如く恐怖し居れり又三岔口方面に在りては萬鹿溝に於て

高三一味の 馬賊の爲め通行路を遮斷され今又双橋樹寒葱河道を飛艇一味の賊團に遮斷されたるを以て三岔口各商店は商品の輸出入全く杜絶し目下營業休止の状態にあり是が爲め一時に物價昂騰し現在に於ては旬日前の三割強の高價を呼ぶに至れり又阿片採取時機に於て南部東寧綏芬溝（三岔口西南約三里）小烏蛇溝大烏蛇溝方面より其の東方各頭間に出動中の馬賊頭目劉林は阿片收穫完了こ共に首尾能く其の目的を遂げ掠奪阿片を馬車に満載し東寧縣亮子川に向け悠々引揚げたりこ

御役所の移轉

總督府の法務局こ鐵道部こは警務局の本府移轉の爲めに倭城臺の廳舍を明渡して西小門の元國庫土地調査局の尨大な廳舍へ二十二日の朝から折柄降りしきる雨を衝いて移轉を始めた法務局は左手正面の二階に鐵道は右手廳舍の同じく二階へ孰れも廣々こ陣取つた何しろ荷物が多いので二臺の貨物自動車こ一臺の乘用自動車數臺の街馬車其れに滿鐵の貨物自動車が應援して間斷なく荷物を運んで居るがそれでも午後五時頃までにやつこ七八分通り荷物を運んだ位乙から整理がまだ一骨こ云ふ所だが係員等は今日は夜が明けてもやつて了ふこ云ふ元氣（寫眞は二十二日午後）

怎う云ふ譯で朝鮮內地間の電報が遲延する

京城大阪間の電線は通信不能

目下京城大阪間の電線中本土朝鮮間の海底線に故障を生じ約一ヶ月前から通信不能の狀態であるが今迄までこは今後幾何の日子を要するか判らないから京城東京二線の中一線を京城大阪線に代用して居るが該線は京城釜山大阪三局が

時間を限り 交互に使用するのであるから通信の疏通が思ふ樣に行かない。そこへ持つて來て恰も今回の官制改革に關する長文の至急電報や官吏異動に伴なふ祝電返電又は新聞社報の增加等によつて一時に電報發著の激增を見るに至り自然一般電報の遲達に非常に差間へを生ずるこごなつた。殊に

數日前から 大連佐世保間の電線切斷し滿洲九州間往復の電報は傳送不能の狀態に陷つて了つた。そこで止むを得ず京城下關間の現在線を奉天まで延長し之に依つてその窮狀を救濟することになつたが其爲め京城下關九州方面及び滿洲への往復電報は大打擊を蒙り其の傳送能力は

從前の約半 に低減するであらう。のみならず若し京城下關間に於て非常の故障を來す場合は唯一の東京京城線を愛してまでも救濟の方法を講ぜねばならないかも知れぬ。此大連佐世保間電線の復舊も修理船の都合でごれ位の日子を要するか目下のところ不明であるから今暫らくは一般電報の遲滞は免れまいこ當局者は語つて居た

臨海日誌

海に馴れる 宿舍の雷遊び

女子教員養成所當番生

五時半起床した、旅行好きの私共には昨日の旅の疲れも忘れて早朝から銘々に身仕度をしたなつかしい我が家、きき我が友へ手紙を認むるもあり又は愉快に談話をかはせるもあつた、八時に至り校醫大槻先生から一般の衞生講話あり續いて次の注意があつた

一、海水浴をなす前後には必ず體操をするこ

一、海から上つては砂の上にころがつて體をあたゝめるここ

一、海水浴を終つて後は清水でよく全身を洗ふここ

一、海水浴の爲め下痢する事も往々あるがこれはさほご恐ろしくはないが疲冷又は飲食物の爲めに胃腸を害しない樣にするここ

などで續いて三宅先生は水を泳ぎ得るものこ泳ぎ得ないものこを調べ一々名簿に記入された後二三の注意をせられた。それから沐浴場に行つた、海邊の心地よさは又別である見渡す限りもなき青海原を白帆を上げて往來する艦、口には言ひ得ぬ。水をくぐる人の帽子がくらげのやうに水の中にふわ〳〵こせるもの汀に寄せ來る白波こ戰けはちや〳〵させて居るものもあつた、私共も大急ぎで歸つて我が校の特設した、脫衣場で新調の一樣のシャツに著換へ仕度をして三人五人づ、海にかけこんだ初めは何だか怖い樣な氣もしたがすぐに馴れてほんこうによい心地になり一同きや〳〵こ打ち興ずる、二十分は夢の間に過ぎて今度は砂濱の砂の上に橫たはつて體を溫めた、其時の心地よさは又格別であつた休憩十分の後再び海に入り愉快に海水浴を終へて宿に歸つたのは十一時であつた、疲れた身を疊の上へ休めて、今日は朝鮮人の校友四五人訪問せられ一同は圓形となり雷遊びなごして打ち興じた午後二時再び浴場に行つた、午前よりも風强く波高く寄せては返す波の音、松の梢を吹く風の音こ和し氣持がよかつた皆仕舞へ元氣よく飛び込み互に手を取り水泳の練習に努力した、竹先生こ飯田先生こは私共より少し離れた岩の傍に泳ひで居られたので今日はお手並を拜見する事は出來なかつた。かくて四時宿に歸つた。宿中海水浴の話で持ちきつて居た。夕食後一時間半の外出を許されたので二三人づ、打ち連れ散歩こなつて出かけた。八時からは金先生に朝鮮語を學んだ、初めは對話の練習をし後に數の唱へ方及び讀方をおそはつた、一時間はいつしか過ぎて早九時こなつた暫く休んで就寢の用意をして十時に床に入つた

昨日降つた 喜びの雨

京畿道以北を潤ほした

仁川觀測所發表

朝鮮北部及び滿洲山東省方面は共に久しく旱天打續きたりしが二十一日午後に至り遼東半島及び青島方面に始めて降雨あり朝鮮に於ては同夜に至り京仁地方面に降雨あり二十二日朝同地方は猶降り續き午前六時迄に十五粍の雨量ありたるが

京仁地方 も七時より驟雨性の降雨ありて正午迄の間に四十二粍に達したり滿洲方面よりの電報遲延の爲め大勢猶明かならざるも蒙古方面に稍有勢なる低氣壓顯はれたる爲め渤海附近に淺潜なる副低氣壓を誘起し漸次

西朝鮮灣 方面に接近しの降雨は之に伴なふべきもの、如く該低氣壓は甚だ淺薄なるも副低氣壓の特性こして所々に雷雨の發生を促すを以て所により可成の雨量を見たる處あるべし其影響區域は略京畿道以北西朝鮮一帶にして漸次に咸鏡南北道方面に及ぶべし（廿二日正午）

稻も復活

粟稷草にも好い 大豆は駄目

二十二日の降雨範圍は午後二時頃まで明かならざるこ西朝鮮一帶に潤雨ありしもの、如し唯京城以南は水原地方に於て正午頃に少雨ありしに止るこの報ありしも午後雨模樣この入電につき本澤半野も相當に降雨を見たりこ觀測して差支なかるべき乎農作物の影響について當路者は曰く此の雨にして今十日早かりせばその農作物の受くる利益は甚大なりしならんも聊か遲れたる

白米騰る

昨二十二日から 五十二錢

市內の小賣白米が圓に二升を築破して五十一錢になつたのは二三日前の事であるが二十二日から又復一錢方高くなり五十二錢を稱へる事になつた、一小賣商は是に就て斯う云つてゐる『內地相場に押されて朝鮮米も非常な强味です大相場から推して精白米一石は五十三圓見當に當るので假令五十二錢に賣つても儲けはない譯です二十一日迄は精米所この間に五十一圓弱で取引が出來たのですが二十二日からは小賣相場を五十三錢に改めなければ我々小賣屋は口錢もない譯ですが組合の決議で當分一升五十二錢こ定つたのです』然し昨日の雨で今後は多少下向くだらうこ云ふ事である

警務總監部の標札が取れた

併合以來十年間內鮮人の腦裡に深く刻み付けられた大和町一丁目の大通りから左に上つた處の朝鮮總督府警務總監部こいふ標札が這回の新制度に依つて永久に撤廢さる、事こなり愈二十二日限り取り除けられた

久し振の雨で 電線に故障

直ぐ恢復する

服部京城局長の談

二十二日朝來の降雨の爲め電話線に故障を生じたる箇所少からず右に就き服部京城郵便局長は語る『本日午前中に電話百三十餘箇所に故障を生じ大分加入者に迷惑を掛けました。然し之は久しく渇望されてゐた雨が降つた爲めです。何しろ四五十日間も雨こ云ふほごの雨を見ないで

旱天が 打續いた爲め乾燥し切つた架空ケーブルに纖微な罅裂を生じて居たこころに雨水が滲み込んだり或は茂つた樹木が雨水の重みの爲めに電線に觸したりして一時に多數の不通箇所を生じたのです。そこで局の方では早速夫々

修理に 着手しましたから間も無く全通するでせう。それから今日は午後此電話故障が多いのに拘らず迷雨の爲に米相場に非常の影響を及ぼしたものこ見え京仁間の電話の如きは午前中は緊劇を來し電流計の示針は限度を示した程でした』

虎疫こ鐵道

嚴重に警戒

コレラ病流行の兆あるを以て京管局に於ては今般之が豫防方法及び停車場又は列車內に於て患者發生の場合採るべき應急處置等を一般に指示し尙南大門外二十五驛及び主要列車に消毒器具並に藥劑を備付け防疫の完全を期す可しこ

京管子供大會

滿鐵京管局事務所慰問部の會にては先般來新鐵滿洲沿線巡講中なりし帝國お伽倶樂部及び通俗教育普及團主幹廣田重太氏を聘し廿三日午後八時より子供大會を開催し同氏の二回のお伽話ある由なるが定めて盛況ならん因に廣田氏は單にお伽話のみならず大人又は一般大人向の話にも長じ居り滿洲にては到る處非常なる歡迎を受けたる由

各地最高溫度

（廿二日午後二時測定）

▲群山 七十九度九分曇天に颶風
▲清州 八十四度曇天に西風
▲大邱 八十四度雨模樣
▲大田 八十二度曇南風雨を
▲鳥致院 八十二度曇南風雨を催ふす
▲木浦 八十五度一分晴れも晴る
▲鎭南浦 八十五度微雨ありし
▲春川 七十三度、曇り午前中雨

運動界

本社軍捷つ

スタンダード對本社の野球試合は廿一日午後五時半より京中運動場で擧行鈴木氏の審判本社軍の先攻にて試合に入るス軍は怪投手齋木を陣容に加へたので一段の强味を發揮したが本社も新鋭長野を加へたので意氣軒昂先づ第一回に於いて七點を入れス軍を脅かしたス軍は第四回より齋木をプレートに立たせたが捕手不熟の爲め流石の齋木も怪腕を充分揮ふの餘地なく終に十四對五を以てス軍の大敗に歸した

野球試合

▲西大門倶樂部對朝鮮公論野球戰は十九日午後五時より京中グラウンドで擧行十二對十で西大門倶樂部大捷す▲廿日午後五時より京中グラウンドに於いて京城學士會對總督府鐵務課の野球戰あり六對五で學士會捷つ

演藝

▲壽座 第三回替藝題（二十三、四日）▲一番目『[illegible]』二番目喜劇『[illegible]』三場▲重なる役割、埼東、楠大佐（岩田）金井（宮越）藝妓笑蝶（神谷）龍見夫人（中村）島田、照夫（島村）山口（小松）久子、お貞（酒井）池田、補屋喜平（熊谷）

小圓好評

既報の如く目下京城中なる浪界の雲井吉田小圓は七十八聯隊及び府廳に於て講演を試みたるが何れも多大の好評を博したるを以て更に左の日割を以て各所に講演すべしこ▲二十三日夜軍司令部員慰安會▲二十五日北部第七十九聯隊▲二十五六兩日喜樂館に於ける電氣會社々員慰安會▲二十七日午後七時より京城日報社々員及家族慰安の爲め本社樓上に於て

避暑地投票

第三十一回發表

儒城	九三七七票
水安堡	七一四五票
金剛山	六四二七票
海雲臺	六二六八票
東萊	四九五二票
馬山	四二四九票
元山	四一七〇票
溫陽	三五九二票
釋王寺	二八九三票
黃海 正方山	二二七四票
仁川	一九九二票
俗離山	七百十四票
水原	七百〇四票
扶餘	三百七十二票
冠岳山	三百八十八票
統營	二百六十八票
[illegible]	二百六十五票
木浦	百四十六票

（百票以下）釜山龍頭山五山里公園、月尾島、內藏山、逍遙山、九味浦、夢金浦、光州、松島、南原、淸津、全州、慶北、周王山、平壤、樂水園、開城、摩天山、平康、古群山、顯龍山、井邑、七寶山、回春園、咸北朱乙、龍岩浦

最新刊

提唱碧巖錄 中谷田來 定價四圓五十錢 送料十六錢
現代の電話工學 若月…
幼兒の智能教育兒…
女子は是丈心得をくべし 定價五十錢 送料六錢
…
世界大戰史 特價六圓
故事作元八遺著 …
京城本町一丁目 大阪屋號

多式汽罐ボイラー 經四尺五寸長十五尺 馬力六拾 大正五年製造 使用一年以內の品 右安價販賣す御商議を乞ふ 京城南大門通五丁目 中村幸商店 電話三七一番

第二回朝鮮殖產銀行債券募集（壹百圓、五百圓、壹千圓の三種無記名式利札附）
募集總額 壹千萬圓
利率 年七分
發行價格 額面百圓に付金百圓均一
申込期間 八月二十五日より八月三十日迄
證據金 額面百圓に付金參圓
募入方法 應募超過の場合に於ける募入方法は殖產銀行に於て適宜之を定む
拂込期限 十月五日迄
御通知次第參上御相談の上便宜御取扱可仕候
詳細は殖產銀行債券募集廣告御參照被成下度候
東京現物團 株式會社角丸商會代理店
有價證券現物問屋 八 近藤脩商店 京城古市町十四番地 電話長六七一番

品質 銘酒瓶詰之一大權威

第一 全道各地之需要激增
大阪府堺町 宅合名會社

第二回朝鮮殖產銀行債券

一募集總額 壹千萬圓（壹百圓、五百圓、壹千圓の三種無記名式利札附）
一利率 年七分
一發行價格 額面百圓に付金百圓均一
一償還方法 大正十年十一月三十日迄据置期後五ヶ年間に每年六月十二月の二回抽籤に依り一回金貳拾萬圓以上適宜金額を定め償還す
一利子支拂方法 每年六月一日及十二月一日前六ヶ月分を支拂ふ但六ヶ月に滿たざるものは日割を以て計算す
一申込期間 八月二十五日より八月三十日迄 但募集額に達したるときは何日にても締切るここあるべし
一證據金 額面百圓に付金參圓
一募入方法 應募超過の場合に於ける募入方法は當行に於て適宜之を定む
一拂込期限 十月五日迄
一資本金 壹千萬圓（內金四百拾九萬七千九百四拾圓拂込濟 六月三十日現在）
一未償還債券 五百萬圓
一現存財產 四千參百九拾四萬九千百參拾壹圓五錢（六月三十日現在）

大正八年八月二十日
朝鮮京城府南大門通二丁目百四拾番地ノ一
株式會社 朝鮮殖產銀行

取扱店名（朝鮮及滿洲）
朝鮮 當行本支店 京城、仁川、元山、平壤、大邱、釜山、鎭南浦
同 朝鮮銀行 京城、仁川、元山、平壤、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、各本支店
同 株式會社朝鮮商業銀行 京城、仁川、平壤、利川、群山、各本支店出張所
同 株式會社第一銀行 京城、釜山、各支店
同 株式會社十八銀行 京城、新義州、仁川、元山、釜山、群山、木浦、各支店
同 株式會社三十銀行 京城、仁川、釜山、平壤、各支店
同 株式會社漢城銀行 京城、水原、平壤、大田、開城、各本支店
同 株式會社韓一銀行 京城、江景、東萊、各本支店
同 株式會社京城銀行 京城、鳥致院、各本支店
滿洲 朝鮮銀行 大連、安東縣、長春、奉天、哈爾賓、各支店

みだれ咲き

第百廿六回　島山碧波作　森田久畫

夜の更けて別府に着いたお蓮が車夫の案内で連れ込まれた旅館は、此の仙境に於ける一流ではあるが、其の位置は日名子に次ぐ第二番目と矚はれつゝある米屋と呼ぶ家であつた。

『どうぞお風呂をお召し下さいまし』

受け持の女中は浴衣を亂れ籠の中に入れて床脇の違い棚に乘せた。

『有難う直に入りますわ』

お蓮は汽車の疲れを温泉に入つて落さうと思つた。

『夫から御飯は如何致しませう』

『モウ汽車の中で濟まして來ましたから宜いわ』と云つて幾らかの金を紙へ包み。

『お帳場へは明日にしますが姉さんのだけは取つて置いて頂戴』

旅に馴れて居る彼の女は、座敷へ落ち付くと共に女中への祝儀を與へた。

『恐れ入ります』

叮嚀に頭を下げた女中は。

『お風呂をお召しの間にお床を延べます』

『どうぞ左樣して下さい』

女中が出て行つて一人となつたお蓮は、始めて心を落ち付けながら部屋の中を見廻して、さうして聽くとも無しに隣室の話に耳を傾けると、途切れ／＼に洩れて來る談合は意外千萬にも山中子爵を始め行方が不明になつた操子と龍雄の一身上に係はるものであつた。

『山中があゝまで云つて居るのですから、今度は二人を別居させるでせう、さうしたら貴郎は早稻田の邸へ乘り込んだら宜いでせう』

『出宮さん、貴郎の仰しやる通りに行けば至極好都合ですが、理想と現實は一致しませんからな』

『ハヽヽヽだから僕が朝鮮へ行つて龍雄を片付けてしまふと思つたのです』

『處で出宮さん、二人の子供を邸から去らせるにしても後に殘つた子爵の健康が舊に復すやうなことがあつては、お互の希望は容易に貫徹することが出來ませんな』

藤村侯爵の言葉には大なる矛盾があつた、彼れがどうやら山中家の横領と云ふことに加擔して居るが、斯る大事件を成功させるのに世間からの批評も受けず、三方四方を圓滿にして自己の希望を滿たさうとしたいのだ。

『藤村さん、手段は幾らもありますから安心なさい、然し操子を誘惑に行つた婦人と云ふのは大丈夫な奴ですか』

お蓮は子爵夫人から操子の隱れて居ると云ふ場所を臆氣に打ち明けられて居たから、斯うした一語が耳に入ると。

『此の出宮と云ふ人が子爵夫人に令孃の所在を話たのだな』

流石は惡事に掛けて拔け目の無い婦人である、お蓮は早くも家中の消息を看破してしまつた。

『夫れは大事を託すに足る婦人ださうです』

此の談合を漏れ聽いたお蓮は、偶然にも絕好の旅館へ泊り合せたるを喜んだ。

『出宮と云ふ山中子爵の兄さんは餘程の野心家らしい』

彼の女は襖の際に身を潜めて尙ほも耳を立てゝ居ると。

『出宮さん、さう致しますと向後貴郎はどう云ふ方針をお執りになるのです、艶子は其のことに關しては俺に安心の出來るやうなことを云ひませんが、今日までの運動は全然捨てるのでは無いでせうな』

『大丈夫ですよ、子爵を精神病者にしてしまへば、後はどうでも勝手な芝居が打てるではありませんか』

出宮は始めて其の本心を打ち明けた、自分の胸底深く計畫して居ると恐るべき手段の一端を漏らした。

雅趣ある秋の七草　秋草を尋ねる　初秋も近づく

暑いといつても、朝夕の風の涼しさ、月を賞で、蟲をたづね、秋草見物に行くに相應はしい初秋は參りました

薄絹を引いた樣な春の大地に咲き出る花は、牡丹、芍藥、桃、櫻などの濃艶な色あるものですが、空澄み渡る秋は皆しほらしい可憐な風趣を持つたものばかりです、春の花を喜ぶ人もあれば綠の夏を樂む人もあり、秋野の小草をこそと二なきものにめづる人もありますが、淋しく寂しい懷しみを持つのは秋草であります『秋の野に咲きたる花をおよび折り、かき數ふれば七草の花』と萬葉集に見えて居る通り、我が國では古來、歌人に賞せられて居るし、俗人にも愛されて居る樣です、扨て其の七草とは何々を云ふかと申しますと、萩、薄、撫子、女郎花、藤袴、桔梗、葛花の七種で昔は朝顏を桔梗に代へて居たと申します、流れを配らつても柚垣にしても見たい萩の花その眞白き又は紅色のはら／＼して穗先の花の愛らしさ

夏萩眞萩　仙臺萩駒止萩などありますが駒止萩は馬が此を見た時立止まつて動かず喰ふ程の處から其名を得たのだと云ふ仙臺萩は昔宮城野一面に密生して居たのでその名があるとか申しますが、今は武藏野の萩と同樣名のみとなつて仕舞ひました、撫子は淡き桃色の花愛らしく野邊や河原に飾ります、大和撫子とか、河原撫子とか名のあるのは石竹に對して淡薄の野邊に

女郎花の　蒸した栗の色に似た黄金の花はら／＼とこぼれて、桔梗、藤袴などの紫混じり咲く樣もしほらしく、葛の葉裏返る、かい間かい間に紫臙脂色した小花の匂ふも捨て難い風情です秋野の七草は多年草で根を植て置くと來る年も來る年も花が咲きます、昔は野邊の花でしたが今は歡賞されて庭園に運ばれる處から野邊には跡を少くしましたが郊外の地、人跡のない山間などには自然の花を多く見出すことが出來ます

人蔘キャラメルは夏期に安全優美高尚滋養に富むミルクチョコレート

日報歌壇

晝深み

□　草野　露彥（京城）

蜜蜂のうなり淋しき晝深み庭のダリアのいよ／＼紅しも

蜜蜂の晝の深みを傾ける向日葵の花にとまらむとすも

庭下駄をつゝかけつゝも朝に消えし眠たき我にダリア赤しも

ダリヤ花咲きの盛りて我庭の此頃わけて明くは見ゆ

□　近江　晩鐘（春川）

蚊帳にゐて燭のさゆれを怪しみつ『病める薔薇』を夜更け讀めるも

窓をあけ月影受けて此夜更け『病める薔薇』を讀み入りにけり

胃に未だよべの酒あり朝餉の味噌汁の香をなつかしむ哉

いさゝかの僞り云ひし苦しみに道歩むにも恥らひて行く

嘘こゝに飢ゑたる心あへぎつゝ現さもなく世を逃び行く

新龍山三角地西へ入ル　新龍山齒科醫院　東京齒科醫學士　廣瀨文質

□　よし　穗（筑紫）

川船の白帆ゆらぎて夕風は草に腹這ふわが醉ひを吹く

やうやくに日影はとどき枕頭の猩々の花ひさきは紅し

枕もとの花猩々は嗅近く手を執られつゝうつゝには見つ

夕されば灯影沁みゝ花猩々目にしたしくて幾日經にけむ

うつら／＼熟睡ゆ覺めていち早く瞳にうつり來る猩々の花

病みぬれば夢にみ母を見まくほり夜なく胸に手を置きにけり

□　松本　翔華（京城）

ひろ／＼と梢に囀づる小鳥等の鳴く音に汝を思ふ兄なり

奉天の夏めく原に埃見ろ十五のお前がいとしさぞ思ふ

蛙鳴く灯紅き窓に文を書くお前思へば泣かまほしけれ

□　藤　敏子（京城）

うら悲し病ねてより此の二十日愛き思ひして今宵も過ぎぬ

一人の我君にさへ此頃はつれなうなりぬ病み伏してより

□　みゆめ（京城）

しみ／＼と物を思へど黄昏の色は山より我に迫り來

鍼灸　濟生堂　入院隨意　主劑 藤井百太郎　本町三丁目

新刊紹介

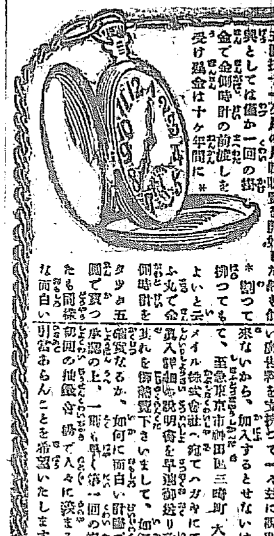
▲戊午集（八月號）三十五錢（京城府苑南洞二七九番地戊午吟社）
▲園藝評論（八月十日號）二十五錢（東京市神田區錦町一ノ十九園藝評論社）
▲日本之關門（八月號）二十五錢（下關市大字東南部町一四七番地日本之關門出版部）
▲ハウス大佐（星一譯）米國政界の立物にして隱れたる偉人なる大佐を趣味ある筆に紹介したるもの（五十錢東京京橋區南鍋町三丁目新報知社）
▲娛樂世界（捕物そろひ）昔も今も變らぬ面白き數ある探偵奇談を一流の講談師に演ぜしめ讀み手のある講談雜誌なり（四十五錢東京日本橋區スキヤ町鈴木書店）
▲海國少年（三の九）日高海軍大佐の軍艦の話及び長篇十五少年の漂流、少年小說愛國小說、降伏潜水艦參觀等（廿錢、東京田端西臺通海國少年社）
▲少女畫報（八の九）上品なる少女向きの寫眞多く讀み物も亦た面白く且つ爲になる記事多し（二十五錢東京京橋區南傳馬町一東京社）
▲少年倶樂部（九月號）表紙も口繪も內容も此快にして面白き少年雜誌にて新開附錄各學校入學試驗問題の解答を添ゆ（二十三錢東京本郷大日本雄辯會）

▲汽車の妨げをなせし惡童の父兄並に田代校長に問ふ十五日附夕刊所載の記事果して事實ならば從來世恐る可き天下の惡黨なり學生兒童にして未だ曾て此の如き不敵大膽の所爲を不聞向後何を以て新聞の同胞に見んや諸氏以て如何となす哉（艦山愛國士）▲近頃水道の人夫が矢鱈滅法に水道給水栓の多額を剏みすする徒らに水線を細くし數十人の給水者は吐水聽なき爲に空しく水道傍に立て待たねばならぬ仍て遂ひ一昨喧に水締を捨ろ駿れるの有樣なり水道人夫に注意を加へられたし（官設共川者）▲知人苦學生中節が宵あり一日四時間位の事務をさりたし（山里生）▲いんきんたむしにはツワブキ（蒸枯れぬ故藥游とも云ふ）の葉の生汁ものを火にて炙り柔らかくして鹽にて揉み梁丸を包み一晝夜を經てよく洗ひ落すべし直ること請合なり（實驗生）▲脚氣にて便泌する人はカスカラサクラダ錠を買ひ毎朝洗面の時冷水一杯と共に二粒宛飲込むべし余は二ヶ月間服藥して便通をよくし脚氣を治し爾來十年間脚氣再發せず且便通極めてよし（實驗生）▲市內にて銀行又は會社の女事務員として御雇ひ下さるところは御座いませんでせうか（高女卒業生）▲某浦の某佾は以前本妻を無理矢理掠り出し寵愛婦を引入れんとして人の注告により一時は謹愼を裝ひ居たりしが彼は再び本性を發揮し近來甚だ面白からざる行狀多々あれば地方の風教上彼れを排斥せんと寄々申合せ中今に反省せざれば頭上に鐵槌の降ることを知れよ（某浦の紳士）▲近頃或る御寺の佾さんが金縁眼鏡を掛けて逃りに本町通りの或る家の娘さんを呼び出して居る事を度々見受けます、ちと御愼みなされては如何に候哉目に余まる樣では止むを得ず鉄誅を加へますぞ（視家の人）▲活動寫眞館樣へ申上候此頃貴館では一應の御挨拶もなく所構はず活動寫眞の廣告を貼付なさるが之れは良くない仕打に候先以て先方の承諾を得てからにされては如何無斷で軒先や戸袋にべた／＼貼付さるゝ事甚だ殘念に候（木目子）

軍司令部師團使用御認可品　日之出印便利瓦　特價販賣
朝鮮代理店　京城永樂町二丁目　德田商會　電話二參二五番

毎月五圓の掛金にて金側時計が買へる

大日本メイル會社の新計畫　而も金鎖以下多數の景品付



近來世の好景氣と共に生活の程度も向上して最早銀側時計では人に輕蔑せられる時代となつた。けれども未だ銀側でも相當値段で買入れる人もあるから此際銀側はさういふ人々へ讓り渡して、自分は最新形の金側で胸を飾り世間の人々から尊敬を受け信用をも增すが最も賢いやり方ではあるまいか。けれども金側時計が値が安くない强ひて安いものを買へば機械が惡かつたり側が薄かつたりして永持ちがせぬ、そこで大日本メイル株式會社では最新形の機械の完全な金側時計を選び之を毎月五圓掛十一ヶ月の月賦販賣を開始した譯も餘興としては僅か一回の掛金で金側時計の前渡しを受け掛金は十ヶ年間に※割つて拂つても、よいと云ふ丸で金側時計をタッタ五圓で買つたも同樣な面白い仕組もあれば、又全部掛金をしてから現品を受取る人々には抽籤にて金鎖や金メダル、時計用磁石などを一名洩れなく進呈すると云ふ加入者に甚だ御利益な規則もある。されば何人も此際五圓此の金時計共同購入に加入するか御利益であるが、それにしても大日本メイル會社とは如何なる會であるか其の金時計は粗惡なものではないか、或は之を心配するか其の抽籤方法は怪しくはないか、何十錢と云ふ高い廣告料を支拂つて一々茲に說明する事は出來ないから、加入するとせないは別問題として、至急東京市神田區三崎町大通り大日本メイル株式會社へ宛てハガキにて申込次第眞入詳細說明書を早速御送り致しますから是れを御熟覽下さいまして、如何に當會社の確實なるか、如何に面白い計畫であるかを御承認の上、一日も早く第一回の掛金を拂込まれて幸運を御引當あらんことを希望いたします。

淋疾最新藥

ゴノクロール

◎純國產にして品質効力輸入藥に優る

全國百餘名の醫家は本品を實驗して其價値を推奬したる報告を寄せられたり。

（全國各地有名藥店にあり）

發賣元　名古屋京町　小島合名會社
代理店　大阪道修町　藤澤友吉商店
中央製藥株式會社製造

胃腸藥　タラコンの眞價

◆村井弦齋先生　發見のタラコンが胃腸病に卓効あることは世間識者の確認せる所であつて之を適用すれば弛緩だ胃腸の筋を引締め其活動を順當にし胃液の分泌を整正して消化を好くし腸の蠕動吸收を順調にして便通を整へ從來不治の難病として醫師も匙を投じた胃癌、胃潰瘍、胃擴張、胃酸過多症を始め腸の諸疾患等あらゆる胃腸病に靈驗あることは既に幾萬千の重症者を救ひ得たる事實に依つて證明せられて居るが更に今般東京

◆帝國醫科大學　教室並に同大學病院、藥局に於て責任ある專門大家のタラに就て研究せられた記錄に徵すれば急性は勿論慢性の胃腸病を根治し食慾を進め消化を補け健康を增進することも科學的に其卓効を裏書せられました斯く實驗上にも亦科學上にも靈驗卓効を認められた胃腸藥は古今東西を通じて其比を見ず藥學史上に特筆大書すべき新福音であつて弊園の深く光榮とする處で有ます

◎藥價　散藥、煎藥各五十錢・一圓廿錢・一圓五十錢・五圓
◎送料十二錢・海外四十五錢……（各藥店にあり）

本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園　（電話小石川[illegible]　振替東京[illegible]）

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual. Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して榮養を佳良ならしめ治病の完壁を期し回春の喜を迎へしむべき滋養强壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

みつわきなてつぶどうしゆ

定價一壜金壹圓七拾錢（內地以外は運賃を加ふ）

香味色佳良滋養力偉大　健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所醫製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に發散する憂ひなく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の[illegible]血、下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に[illegible]後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用ふべし▲

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱くて胃に障り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人
一、所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に惱つて居る人
一、頸細長く顏瘦け[illegible]人並よりも多く出る肺病的の人
一、結核性體質の人
一、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き弱で[illegible]の永く[illegible]いて居る人
一、下腹の永く弱いて居る人
一、ヒステリー病に罹されて居る人
一、ヒポコンデリー病に罹まされて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尙新活力を鼓興し得べき模範强壯料

◎ミツワ人參葡萄酒

みつわにんじんぶどうしゆ

定價一壜金壹圓八拾錢（內地以外は運賃を加ふ）

風味高潔淸和滋養豐富　元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにて、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして馥郁、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも適し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を貫し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尙體力を賦與する上に於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり。本品は隨時隨處飲用すべく、或は諸種の淸涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、腕力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、病苦や不快な感覺を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の瘦削けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色蒼褪め[illegible]の無い人
一、手足や腰腹が冷えて困る人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、[illegible]して歴代的になる人